

昭和59年版

数字で見る図書館活動

調布市立図書館

図書館の自由に関する宣言

図書館は、基本的人権のひとつとして知る自由をもつ国民に、資料と施設を提供することを、もっとも重要な任務とする。

この任務を果たすため、図書館は次のことを確認し実践する。

- 第1 図書館は資料収集の自由を有する。
- 第2 図書館は資料提供の自由を有する。
- 第3 図書館は利用者の秘密を守る。
- 第4 図書館はすべての検閲に反対する。

図書館の自由が侵されるとき、われわれは団結して、あくまで自由を守る。

社団法人 日本図書館協会

(1979年5月30日 総会決議(改訂)本文)

図書館員の倫理綱領

日本図書館協会

この倫理綱領は、「図書館の自由に関する宣言」によって示された図書館の社会的責任を自覚し、自らの職責を遂行していくための図書館員としての自律的規範である。

(図書館員の基本的態度)

第1 図書館員は、社会の期待と利用者の要求を基本的なよりどころとして職務を遂行する。

(利用者に対する責任)

第2 図書館員は利用者を差別しない。

第3 図書館員は利用者の秘密を漏らさない。

(資料に関する責任)

第4 図書館員は図書館の自由を守り、資料の収集、保存および提供につとめる。

第5 図書館員は常に資料を知ることにつとめる。

(研修につとめる責任)

第6 図書館員は個人的、集団的に、不断の研修につとめる。

(組織体の一員として)

第7 図書館員は、自館の運営方針や奉仕計画の策定に積極的に参画する。

第8 図書館員は、相互の協力を密にして、集団としての専門能力の向上につとめる。

第9 図書館員は、図書館奉仕のため適正な労働条件の確保につとめる。

(図書館間の協力)

第10 図書館員は図書館間の理解と協力につとめる。

(文化創造への寄与)

第11 図書館員は住民や他団体とも協力して、社会の文化環境の醸成につとめる。

第12 図書館員は、読者の立場に立って出版文化の発展に寄与するようつとめる。

日本図書館協会は、わが国の図書館の現状にかんがみこの倫理綱領を作成し、提唱する。本協会はこの綱領の維持発展につとめると共に、この綱領と相いれない事態に対しては、その改善に向けて不断に努力する。

「図書館の自由に関する宣言」に思う

図書館長 森 正 克

品川区の3月議会における図書館の図書選定をめぐる蔵書リスト提出問題は、私たちに、さまざまな課題を投げかけた。新聞で大きく報道されたこともあり、今年の全国図書館大会でも話題をさらうことになるだろう。

「当市だったらどうするだろうか？」私は、他人ごととは思えない気持ちでなりゆきを見守っていた。今年は「図書館の自由に関する宣言」(昭和29<1954>年全国図書館大会採択)が成立して、丁度30周年にあたるので、改めて宣言の趣旨を深くかみしめる機会としたい。

戦後の社会教育改革の原則のひとつは権力からの独立であった。とりわけ図書館は、住民の思想形成に大きくかわる分野だけに、政治、特定権力からの自由と独立が強く要請されたのである。過去において、思想、言論、出版などの統制が行なわれたことは歴史の示すところであり、図書館も免れることのできない機関であった。この反省に立って創造されたのが左記に掲げた宣言である。これは住民の知る自由を保障するという正義にもとづいてつくられたもので、図書の選定や、提供が外部の圧力によって歪められることが絶対にあってはならないことを示したものである。宣言採択の際の当時の図書館協会事務局長故山松氏の「……自由即ち中立性が侵されない限り、羊の如く温和で謙虚な奉仕機関である。然し一度その自由がおびやかされ中立性が危くなるならばその本質上、職域的生命をかけても敢然と立ち上って猛虎と化すべきもの…」といているが、この言葉は、図書館人として並々なぬ気概がこめられ、後進に勇気を与えてくれるものである。さらに図書館界は昭和49年この宣言を体して、自己の規範ともいふべき「図書館員の倫理綱領」をも定めている。

然ればこそ、我々図書館職員は、みずからの任務を自覚し、たえず公平な目を養いながら、広く住民ニーズを求め、情報検索、提供に不断の努力を重ねなければならないのである。そうすれば、地域住民から信頼される図書館として立派に機能することができるのである。

もう1件、東京の別の区で、やはり3月議会での議員の発言をめぐって住民から公開質問状が提出された。これは議員が読書会用の図書の選定と図書館の複本購入を問題にした発言に対する親子読書会等の利用者団体からの質問である。

「図書館の自由」は、図書館職員にとって「利用者の読書の自由を守る」という大きな命題があると同時に、利用者側から見れば、「自分たちの自由な読書活動を図書館に保障させる」という側面もあるわけで、このような住民の行動もあり得るということである。

2件とも他地区で起きたできごとであるが、みずから戒める材料としたいと思う。

「他山の石、以て玉を攻くべし」(詩経)である。(59年8月記す)

目 次

I. 調布市の概況	4
1. 人 口	4
2. 財 政	11
II. 図書館の概況	16
1. 運営方針	16
2. 昭和58年度図書館重点事業	16
3. 図書館配置図	17
4. 各館別施設概況	17
5. 運営組織と事務分掌	27
6. 貸出制度と開館時間	35
7. 将来計画	38
III. 蔵 書	39
1. 年度別蔵書冊数	39
2. 館別・分類別蔵書冊数	39
3. 分類別購入冊数	39
4. 分類別寄贈受入冊数	40
5. 分類別除籍冊数	40
6. 館別蔵書整備計画	41

IV. 登録状況	49
1. 年度別・町別登録者数	49
2. 町別登録者数	49
3. 年度別・館別登録者数	49
4. 館別・職業別登録者数	49
5. 市内小中学生の登録状況(昭和56年度調査結果)	50
V. 貸出状況	74
1. 年度別貸出冊数	74
2. 館別個人貸出冊数	74
3. 館別団体貸出冊数	75
4. 館別図書予約件数	75
VI. 障害者サービス	80
VII. 各館事業	84
VIII. その他の活動状況	89
1. 集会・学習活動の状況	89
2. 行 事	89
3. 育成グループ	95
4. 視聴覚ライブラリー	97
事務分掌表	98

I 調布市の概況

昭和30年4月調布町・神代町が合併し、人口4万5千余人の調布市が誕生した。

調布市の歴史は、自然が与えた野川沿いに始まり、そこには、先人が残した遺物が数多く発見され、縄文時代中期の土器も出土しており、奈良時代の万葉集には、『多摩川にさらす手づくりさらさらになにそこの児のここだ愛しき』とうたわれ、今も残る、布田、染地、といった地名が当時の人々の生活を象徴的にうつしだしている。更に江戸時代には、甲州街道(国道20号)沿いに宿場が設けられ、「布田五宿の貸座敷」として当時はかなり有名であった。

現在の調布市は、副都心新宿から西へ15km、私鉄(京王線)で15分の位置にあり、東西に京王線と甲州街道(国道20号)が、中央自動車道がほぼ北東から西南にかけて横断しており、典型的な近郊住宅都市である。地形は、南端の多摩川附近の低地から北に向うに従って高台となる段丘で、武蔵野台地と立川台地の上に広がり、深大寺附近は、武蔵野の面影を残す絶好の住宅地である。

面積 21.79km²

(東西約7km 南北5.7km)

位置 東経139度32分 北緯35度38分

1. 人口

(1) 町別人口

人口の分布状況を町別にみると、甲州街道(国道20号)と、それに平行して走る私鉄(京王線)に沿って市街地を形成している地域(小島町、布田、国領町、仙川町等)、新らしく集団住宅の建設によって形成された住宅地域(染地、西つつじヶ丘、緑ヶ丘等)に大別することができるが、近年は、首都圏内都市に共通する宅地化の波にさらされ、道路の整備とバス路線の充実によって、人口分布も全市的に拡大されつつある。

町丁別世帯と人口 表〔I-1-(1)〕

町丁名	世帯数	人口総数	男	女	面積 (km ²)	人口密度 (1km ² :人)
総数	71,185	181,942	93,789	88,153	21.79	8,350
飛田給 1丁目	958	2,365	1,234	1,131	0.246	9,614
2丁目	808	1,916	988	928	0.259	7,398
3丁目	476	1,246	664	582	0.246	5,065
西野 町	—	—	—	—	1.123	—
野水 1丁目	15	50	24	26	0.354	141
2丁目	—	—	—	—	0.092	—
上石原 1丁目	1,199	2,967	1,530	1,437	0.263	11,281
2丁目	926	2,191	1,143	1,048	0.217	10,097
3丁目	1,001	2,336	1,356	980	0.295	7,919
下石原 1丁目	937	2,420	1,254	1,166	0.219	11,050
2丁目	836	1,968	1,066	902	0.175	11,246
3丁目	1,149	2,633	1,398	1,235	0.263	10,011
富士見町 1丁目	539	1,464	749	715	0.180	8,133
2丁目	1,074	2,841	1,459	1,382	0.216	13,153
3丁目	993	2,522	1,310	1,212	0.216	11,676
4丁目	1,037	2,706	1,430	1,276	0.289	9,363
調布ヶ丘 1丁目	501	1,188	577	611	0.214	5,551
2丁目	536	1,294	695	599	0.115	11,252
3丁目	945	2,194	1,186	1,008	0.237	9,257
4丁目	434	1,142	598	544	0.106	10,774
小島町 1丁目	755	2,015	971	1,044	0.167	12,066
2丁目	1,185	2,782	1,385	1,397	0.207	13,440
3丁目	1,487	3,634	1,867	1,767	0.293	12,403
下布田町 74	231	121	110	0.026	8,885	
布田 1丁目	578	1,442	734	708	0.091	15,846
2丁目	1,037	2,513	1,281	1,232	0.138	18,210
3丁目	485	1,117	579	538	0.159	7,025
4丁目	409	841	422	419	0.113	7,442
5丁目	719	1,725	869	856	0.145	11,897
6丁目	405	1,026	544	482	0.173	5,931
染地 1丁目	437	1,327	692	635	0.193	6,876
2丁目	1,523	4,413	2,277	2,136	0.344	12,828
3丁目	3,167	9,557	4,747	4,810	0.466	20,509
多摩川 1丁目	513	1,593	817	776	0.232	6,866
2丁目	228	566	307	259	0.206	2,748
3丁目	1,206	2,842	1,557	1,285	0.230	12,357
4丁目	303	764	397	367	0.196	3,898

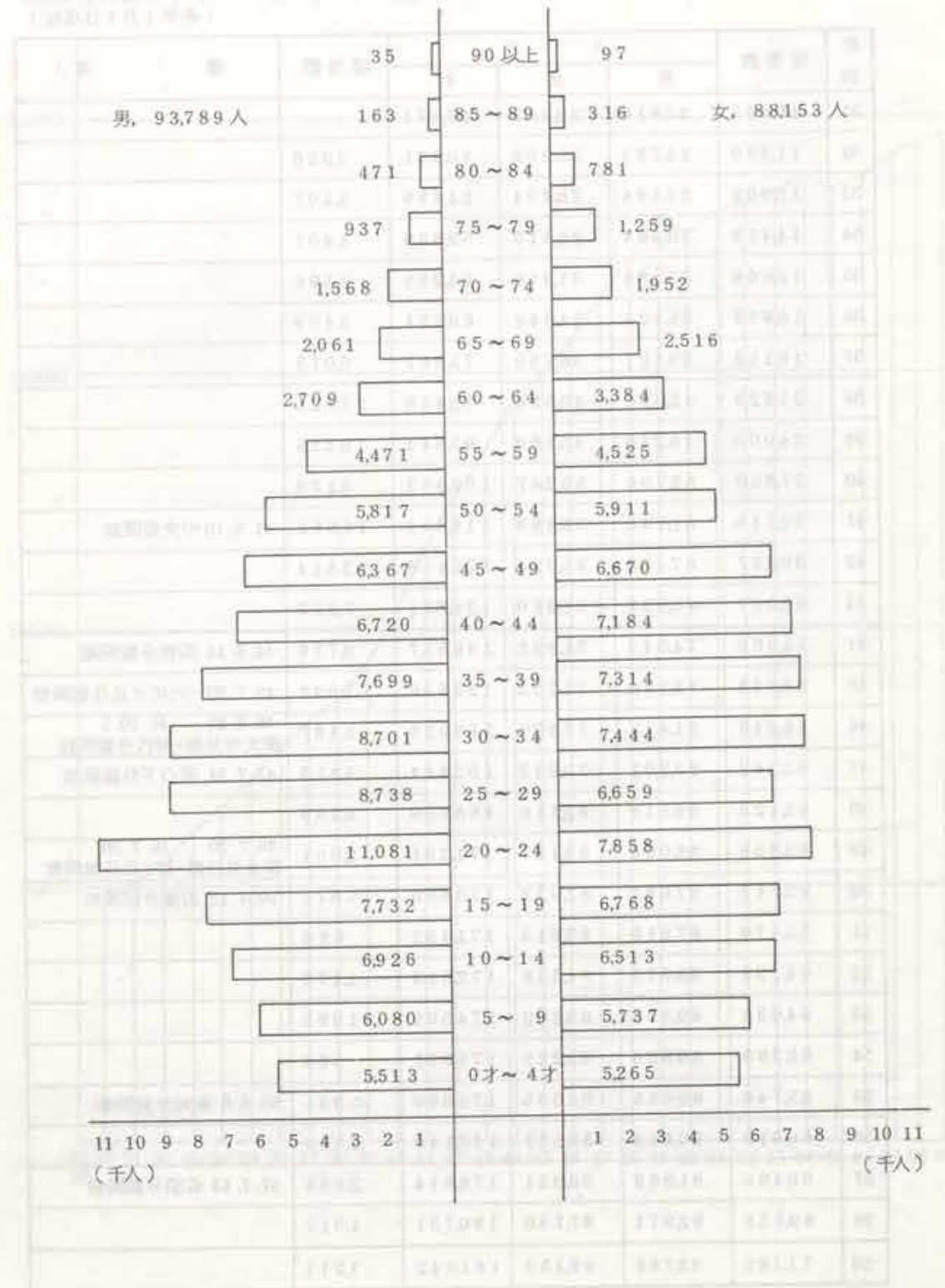
資料：市民課「住民基本台帳」・都市計画課「町別面積表」

(注)：面積総数には、河川敷等の面積1.120及び金子町0.009を含む。

59年1月1日

町 丁 名	世帯数	人口総数	男	女	面積 (km ²)	人口密度 (1km ² :人)
多摩川 5丁目	967	2,419	1,230	1,189	0.098	24,684
6丁目	314	914	493	421	0.151	6,053
7丁目	478	1,184	615	569	0.175	6,766
国領町	729	1,806	933	873	0.174	10,379
国領町 1丁目	1,288	3,227	1,631	1,596	0.186	17,349
2丁目	232	593	291	302	0.111	5,342
3丁目	1,551	4,264	2,131	2,133	0.178	23,955
4丁目	780	2,136	1,098	1,038	0.200	10,680
5丁目	1,266	2,915	1,515	1,400	0.195	14,949
6丁目	339	867	472	395	0.105	8,257
7丁目	1,002	2,312	1,241	1,071	0.231	10,009
8丁目	908	2,683	1,312	1,371	0.200	13,415
深大寺町	7,703	21,995	11,308	10,687	4.106	5,357
佐須町	1,791	4,792	2,428	2,364	0.686	6,985
柴崎町	221	401	269	132	0.065	6,169
柴崎 1丁目	1,058	2,399	1,290	1,109	0.252	9,520
2丁目	1,376	4,112	2,035	2,077	0.270	15,230
東つづじヶ丘 1丁目	432	865	476	389	0.067	12,910
2丁目	829	1,851	923	928	0.164	11,287
3丁目	694	1,714	874	840	0.190	9,021
西つづじヶ丘 1丁目	1,277	3,088	1,552	1,536	0.268	11,522
2丁目	505	1,345	662	683	0.167	8,054
3丁目	517	1,127	597	530	0.111	10,153
4丁目	2,762	7,760	3,866	3,894	0.402	19,303
菊野台 1丁目	843	1,975	1,035	940	0.200	9,875
2丁目	1,253	2,875	1,481	1,394	0.210	13,690
3丁目	1,544	2,710	1,577	1,133	0.285	9,509
緑ヶ丘 1丁目	1,058	2,759	1,338	1,421	0.250	11,036
2丁目	1,812	5,124	2,444	2,680	0.330	15,527
仙川町 1丁目	1,185	2,767	1,398	1,369	0.207	13,367
2丁目	610	1,357	698	659	0.170	7,982
3丁目	242	627	340	287	0.136	4,610
若葉町 1丁目	1,127	2,505	1,323	1,182	0.269	9,312
2丁目	700	1,696	903	793	0.154	11,013
3丁目	187	544	266	278	0.149	3,651
人間町 1丁目	1,638	3,303	2,004	1,299	0.340	9,715
2丁目	645	1,857	918	939	0.338	5,494
3丁目	447	1,243	614	629	0.167	7,443

年齢(5才階級)別人口の構成 表(1-1-(2))

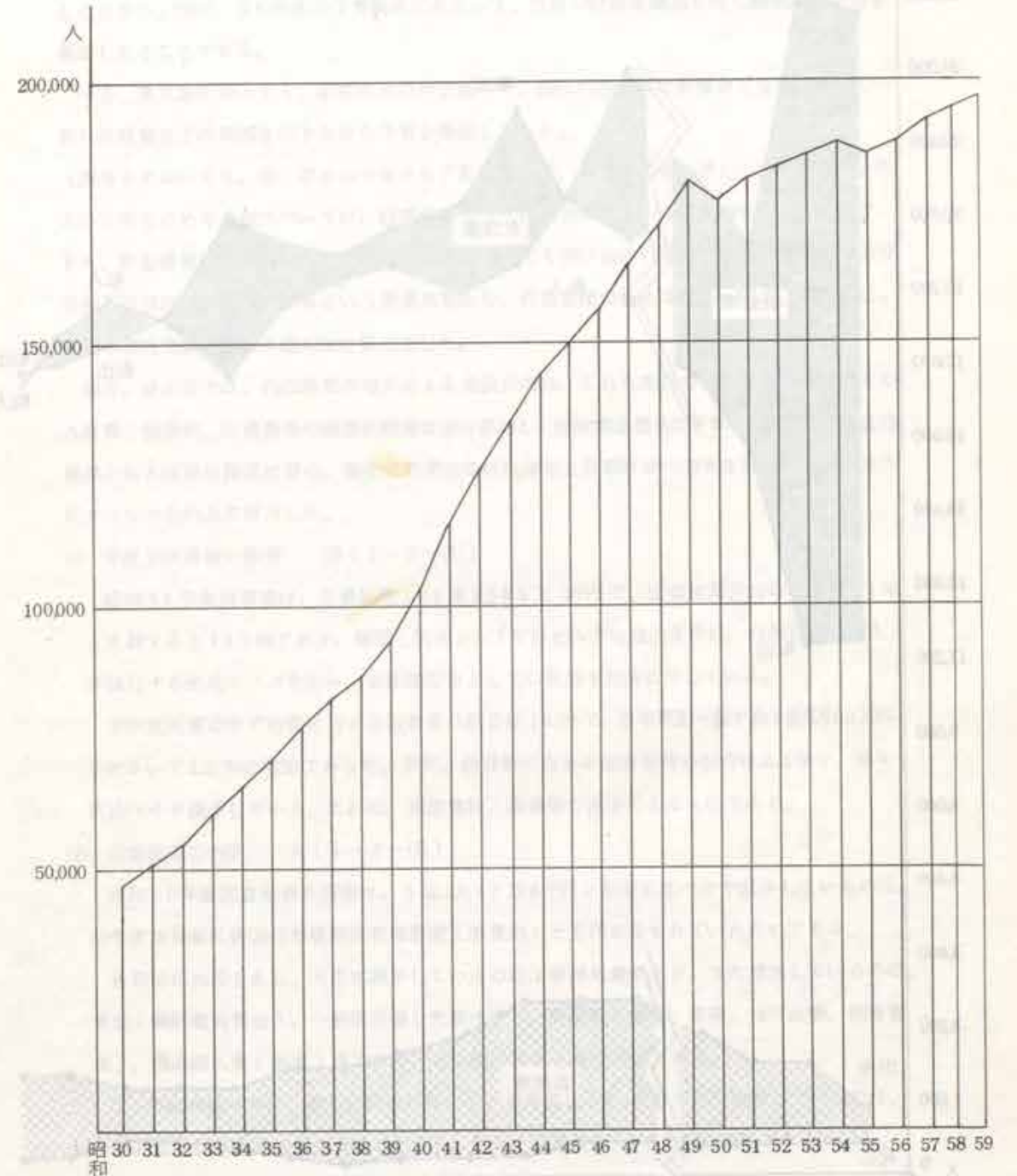


調布市の年別世帯数と人口 表〔I-1-(3)〕

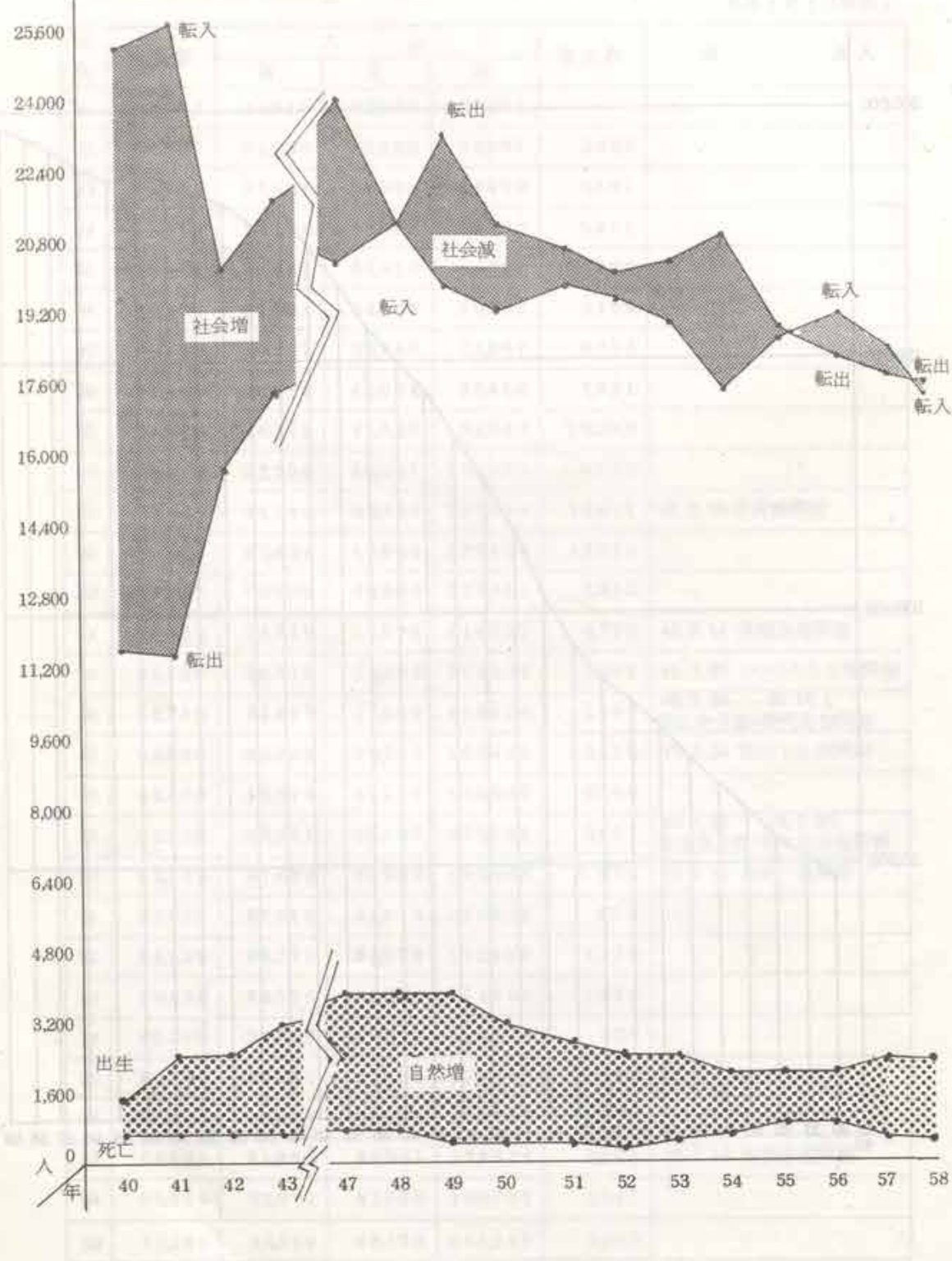
(各年1月1日現在)

年別	世帯数	人 口			増加数	備 考
		男	女	計		
31	10,863	23,816	23,255	47,071		
32	11,890	25,783	25,208	50,991	3,920	
33	12,909	27,594	26,904	54,498	3,507	
34	14,413	30,584	29,315	59,899	5,401	
35	15,666	32,385	31,910	64,295	4,396	
36	16,853	35,425	34,369	69,794	5,499	
37	18,112	39,107	36,760	75,867	6,073	
38	21,229	42,854	40,634	83,488	7,621	
39	24,003	48,278	45,566	93,844	10,356	
40	27,859	52,736	50,247	102,983	9,139	
41	32,715	61,145	58,499	119,644	16,661	41. 6. 10 中央館開館
42	39,667	67,434	65,024	132,458	12,814	
43	42,007	70,951	68,860	139,811	7,353	
44	44,880	74,545	71,992	146,537	6,726	44. 8. 14 国領分館開館
45	55,726	78,336	75,203	153,539	7,002	45. 7. 20 つつじヶ丘分館開館
46	58,248	81,417	77,609	159,026	5,487	46. 7. 24 46. 10. 1 深大寺分館・神代分館開館
47	60,242	83,201	79,243	162,444	3,418	47. 7. 24 宮の下分館開館
48	62,428	86,514	82,116	168,630	6,186	
49	63,359	88,094	83,187	171,281	2,651	49. 7. 20 49. 7. 20 富士見分館・緑ヶ丘分館開館
50	63,742	87,684	82,922	170,606	△675	50. 4. 12 若葉分館開館
51	53,479	87,819	83,613	171,432	826	
52	64,138	88,272	84,338	172,610	1,178	
53	64,936	89,305	85,200	174,505	1,895	
54	65,398	89,806	85,225	175,031	526	
55	65,746	89,655	85,035	174,690	△341	55. 6. 6 染地分館開館
56	66,819	90,612	85,537	176,149	1,459	
57	68,495	91,863	86,951	178,814	2,665	57. 7. 13 佐須分館開館
58	69,955	92,971	87,760	180,731	1,917	
59	71,185	93,789	88,153	181,942	1,211	

調布市人口グラフ 表〔I-1-(3)〕



人口動態の推移 表〔I-1-(5)〕



2. 財政

昭和54年の第2次石油危機以来、わが国経済は^休然として景気回復の兆しが予測できないところから、国は、58年度の予算編成にあたって、空前の財政危機感を持ち超緊縮型予算を編成したところである。

一方、東京都においても、都税収入の伸び悩みや、国の行政改革の影響などを懸念しつつ一般行政経費などの節減を図りながら予算を編成している。

調布市においても、国・都から少なからず影響を受け、台所は非常に苦しい実情にある。収入の大半を占める市税については、経済情勢及び人口増加の停滞から自然増収は期待できず、また、収益事業収入の減収や、その他の収入についても伸び悩みの状態である。更に、地方交付税不交付団体に指定されるという異常事態から、財政事情の極めて厳しい中で、調布市は、市税の徴収等財源確保に最大限の努力をした。

他方、歳出面では、行政需要の増大による施設の増加、これら施設の維持管理経費をはじめ、人件費、扶助料、公債費等の義務的経費は年々果増し、財政構造悪化の中で、行政経費の徹底的節減と収入財源の確保に努め、健全で効果的な財政運営と長期計画の着実な実施で、公平な市民サービスの向上に努力した。

(1) 年度別決算額の推移 表〔I-2-(1)〕

昭和58年度決算額は、市費総額322億9585万2千円で、図書館開設当時の昭和41年と比較すると15.3倍であり、副都心新宿から15分という地理的条件は、行政需要の増大と多様化する住民ニーズを生み、首都圏都市としての発展を如実に示している。

本年度決算の中で市費に占める教育費の割合は16.3%で、前年に比べ額で約4億5,600万円、率において1.2%の増加であった。更に、教育費に占める図書館費の割合は2.3%で、前年に比べやや減少している。これは、施設建設工事費等の減少によるものである。

(2) 図書館費の内訳 表〔I-2-(2)〕

昭和58年度図書館費決算額は、1億2047万6千円と前年に比べやや減少しているのは、前年度決算額に佐須分館資料保存庫設置工事費約1千万円が含まれていたためである。

各節毎に比較すると、大巾に減少しているのは工事請負費であり、また増加しているのは、賃金(嘱託職員賃金)、一般需用費(光熱水費)、委託料(警備、清掃、保守点検、図書整理)、備品購入費(図書)等であり、その他は前年とほぼ同額である。

59年度当初予算は、厳しい財政事情の中、前年度比5,648万5千円増額しているのは、本格的資料保存庫を新築するためである。なお、図書費は400万円の減額となっている。

年度別決算額の推移 表〔I-2-(1)〕

科目	年度						
	40 ※	41 ※	45	46	47	48	49
市費総額	1,729,966	2,111,464	6,114,405	7,675,139	11,677,143	12,832,627	14,619,067
指数		100	290	363	553	608	692
教育費	468,770	486,168	1,512,054	1,915,678	2,355,806	4,371,727	4,090,834
指数		100	311	394	485	899	841
市費に占める割合		23.0%	24.7%	25.0%	20.2%	34.0%	28.0%
図書館費	18,960	5,914	48,253	45,272	34,140	97,698	173,055
(図書費)		2,044	5,255	12,029	15,435	20,878	40,083
(建設費)	17,348	0	30,880	17,800	0	53,287	100,689
(その他)		3,870	12,118	15,443	18,704	23,533	32,283
指数		100	816	766	577	1,652	2,926
教育費に占める割合		1.2%	3.2%	2.4%	1.4%	2.2%	4.2%
人口	102,983	119,664	153,539	159,026	162,444	168,630	171,281
指数		100	128	133	136	141	143
人口1人当たり市費	16,798	17,647	39,830	48,263	69,247	74,921	85,689
同教育費	4,552	4,063	9,850	12,046	13,970	25,524	23,978
同図書館費	184	49	314	285	202	570	1,014
同図書購入費		17	34	75	92	122	235

※ 図書館費に職員の給与等人員費は含まれていない。
 ※ 人口は1月1日現在。
 ※ 人口1人あたりの金額は単位円で示す。
 ※ 40、41年度は開館準備年度と開館年度。

(単位 千円)

50	51	52	53	54	55	56	57	58
16,440,767	18,127,507	20,942,418	21,746,176	24,331,014	26,876,122	30,229,207	31,855,245	32,295,852
778	859	992	1,030	1,153	1,273	1,431	1,509	1,530
5,484,729	4,196,469	3,480,825	4,532,321	4,647,420	5,126,437	6,195,692	4,802,891	5,259,307
1,128	863	716	932	956	1,054	1,274	988	1,082
33.3%	23.1%	16.6%	20.8%	19.1%	19.1%	20.5%	15.1%	16.3%
64,615	53,695	68,539	83,015	134,977	91,971	275,630	127,283	120,476
26,225	17,577	20,227	22,004	55,242	35,314	58,291	51,898	53,959
0	0	0	0	0	0	151,548	0	0
38,390	36,118	48,312	61,011	79,735	56,657	65,791	75,385	66,517
1,092	908	1,159	1,404	2,283	1,555	4,661	2,152	2,037
1.1%	1.3%	2.0%	1.8%	2.9%	1.8%	4.4%	2.7%	2.3%
170,606	172,610	174,505	175,031	174,690	176,149	178,814	180,731	181,942
143	144	146	146	146	147	149	151	152
95,902	105,020	120,010	124,242	139,281	152,576	169,054	176,258	177,506
31,993	24,311	19,947	25,894	26,603	29,103	34,649	26,575	28,907
376	311	393	474	772	522	1,541	704	662
152	102	116	126	316	200	326	287	297

図書館費内訳表 表〔1-2-(2)〕

節 項	年度	54年度		55年度		56年
		決算額	百分比	決算額	百分比	決算額
報酬		363,000	0.27	187,500	0.20	450,000
賃金		14,700	0.01	21,000	0.02	19,800
報償費		2,408,900	1.78	2,848,480	3.10	2,941,600
旅費		309,180	0.23	283,630	0.31	330,520
交際費		10,000	0.01	10,000	0.01	0
一般需用費		17,926,003	13.29	23,156,119	25.18	25,081,486
食糧費		29,800	0.02	39,930	0.04	49,920
役務費		1,314,220	0.97	1,256,754	1.37	1,539,630
委託料		17,801,465	13.19	16,607,244	18.06	21,960,808
使用料及び賃借料		29,635	0.22	40,495	0.44	42,302
工事請負費		25,981,000	19.25	7,190,600	7.82	15,154,800
原材料費		126,620	0.09	127,420	0.14	129,560
備品購入費		68,186,199	50.51	39,727,784	43.19	70,878,786
(図書購入費)		(55,241,399)	(40.92)	(35,313,669)	(38.39)	(58,291,286)
(機械器具)		(5,626,000)	(0.42)	(2,510,000)	(0.27)	(97,580)
(視聴覚教材)		(1,841,250)	(1.36)	(2,113,000)	(2.30)	(2,300,000)
(庁用器具)		(10,540,950)	(7.81)	(2,050,115)	(2.23)	(10,189,920)
負担金、補助及び交付金		70,880	0.05	100,530	0.11	100,320
補償、補償及び賠償金		0	0	0	0	0
投資及び出資金		129,090	0.10	0	0	167,620
公課費		8,800	0.01	8,800	0.01	8,800
合計		134,976,207	100	91,970,741	100	275,629,870

()内は内訳

(単位 円)

度	百分比	57年度		58年度		59年度当初予算
		決算額	百分比	決算額	百分比	
	0.16	450,000	0.35	450,000	0.37	450,000
	0.07	546,600	0.43	2689,170	2.23	2,613,000
	1.07	3,970,300	3.12	3,942,400	3.27	4,314,000
	0.12	337,000	0.26	333,770	0.28	326,000
	0	0	0	0	0	0
	9.10	28,340,439	22.27	29,770,812	24.71	30,894,000
	0.02	45,660	0.04	45,910	0.04	43,000
	0.56	1,565,650	1.23	2,144,173	1.77	2,337,000
	7.97	20,087,108	15.78	21,475,621	17.83	29,737,000
	0.15	424,320	0.33	443,070	0.37	490,000
	54.98	148,180,000	116.4	894,000	0.74	5,125,200
	0.05	148,900	0.12	117,150	0.10	100,000
	25.71	56,439,480	44.34	58,077,697	48.21	54,103,000
	(21.15)	(51,897,760)	(40.77)	(53,958,935)	(44.79)	(50,000,000)
	(0.04)	(77,000)	(0.06)	(57,750)	(0.48)	(54,200)
	(0.83)	(2,257,000)	(1.77)	(2,253,750)	(1.87)	(2,457,000)
	(36.9)	(220,772,000)	(17.4)	(12,875,120)	(10.7)	(11,040,000)
	0.04	100,320	0.08	83,040	0.07	83,000
	0	0	0	0	0	30,000
	0.06	0	0	0	0	0
	0.003	8,800	0.01	8,800	0.01	8,800
	100	127,282,577	100	120,475,613	100	176,781,000

II 図書館の概況

昭和41年に調布市立図書館（現在の中央館）が開館してから調布市における図書館活動がはじまった。昭和44年には、分館第一号の国領分館が開館、以後年次的に分館を開館し、現在は中央館を含め11館をかぞえるに至った。

この分館網システムは、人口2万人に1館、半径800メートルに1館、2つの小学校区に1館の三原則を満たすように計画され、57年度佐須分館の開設により、調布市における分館網システムは、所期の目的が達成された。

現在残されている大きな課題としては、新中央館の早期実現である。狭隘となった現中央館にかわって、10の分館の中核機能を果たすべく新中央館が完成されたとき、調布市立図書館は、又新しい第一歩を踏み出すことになるといえる。

1. 運営方針

調布市立図書館は、市民の参加と協力のもとに、自立した市民の連帯と地域に根ざした市民文化の創造に向けて積極的な図書館活動を展開していく。

- (1) 買い物カゴを下げて誰れでも気軽に立ち寄れる図書館づくりを目指し、市民のだれもが自由に図書館サービスを受けられる様にサービスの拠点を広げていく。
- (2) 座して利用を待つという静態的な活動に終始することなく積極的に図書館側から市民に働きかける動態的な図書館活動を目指す。
- (3) 子どもに良い読書環境を整備するため、各館に独立した児童室を設け専任の職員を配置し館内・館外に対し、あらゆる機会をとらえて児童サービスを行う。
- (4) 市民の身近かなところで文化的事業（講座、講演会、著者を囲む読書会、座談会、名画鑑賞会等）を開催し、文化創造の拠点として積極的な図書館活動を展開する。
- (5) 市民に充実した図書館サービスを保障するため、種々の機会をとらえて組織的に研修を行い職員の資質の向上をはかる。

2. 昭和58年度 図書館重点事業

図書館は、文化の伝承にとどまらず文化創造の拠点として、積極的な活動を展開し、読書の普及と読書によって啓発された市民の学習意欲を的確に受けとめ、だれでも、自由に図書館サービスを受けられるよう、その拠点を拡げ、図書館網機能をフルに活用し、次の重点事業を中心に各々の事業の充実を図った。

ア 蔵書の充実

市民との連帯を深め、市民図書館としての責務を果たすため、限られた予算を効果的に執行し、市民要求に即応できるよう蔵書の充実努めた。

(ウ) 新刊書を中心に、市民のニーズにマッチした資料の選択と収集

(イ) 参考図書網羅的な収集と内容の充実・強化

(ロ) 郷土資料及び行政資料の積極的な収集

(ハ) 内容的に古い資料の買替え・補充による、資料面でのサービス向上

イ 図書館網の整備

調布市長期計画に基づく、図書館網計画は、57年度開設の佐須分館をもって、所期の目的は達成された。

この結果、図書館利用の最も低かった地域への図書館サービスが保障される。

ウ 市民と連帯した文化的事業の実施

図書館資料を媒体とする読書啓蒙活動と並行して、読書によって生まれた学習意欲と市民の心の中にある文化的欲求を的確に受けとめ、育てるため社会教育関連機関等と協力し、市民の文化に対する自覚と創造を促し、だれでも気軽に学習に参加できる機会を設け、市民と連帯した文化活動を推進した。

エ 障害者サービスの充実

視覚障害者に対するサービスに重点を置き、朗読テープの作成や対面朗読、点訳サービスを実施し、朗読ボランティアや点字ボランティアの育成等に努め、視覚障害者への読書権の確立を計った。

オ その他日常業務の充実

過去の経験と反省を生かし、今日までの蓄積を基盤に図書の間覧、貸出業務を遂行しながら、前年に引き続き、次の事業の充実努めた。

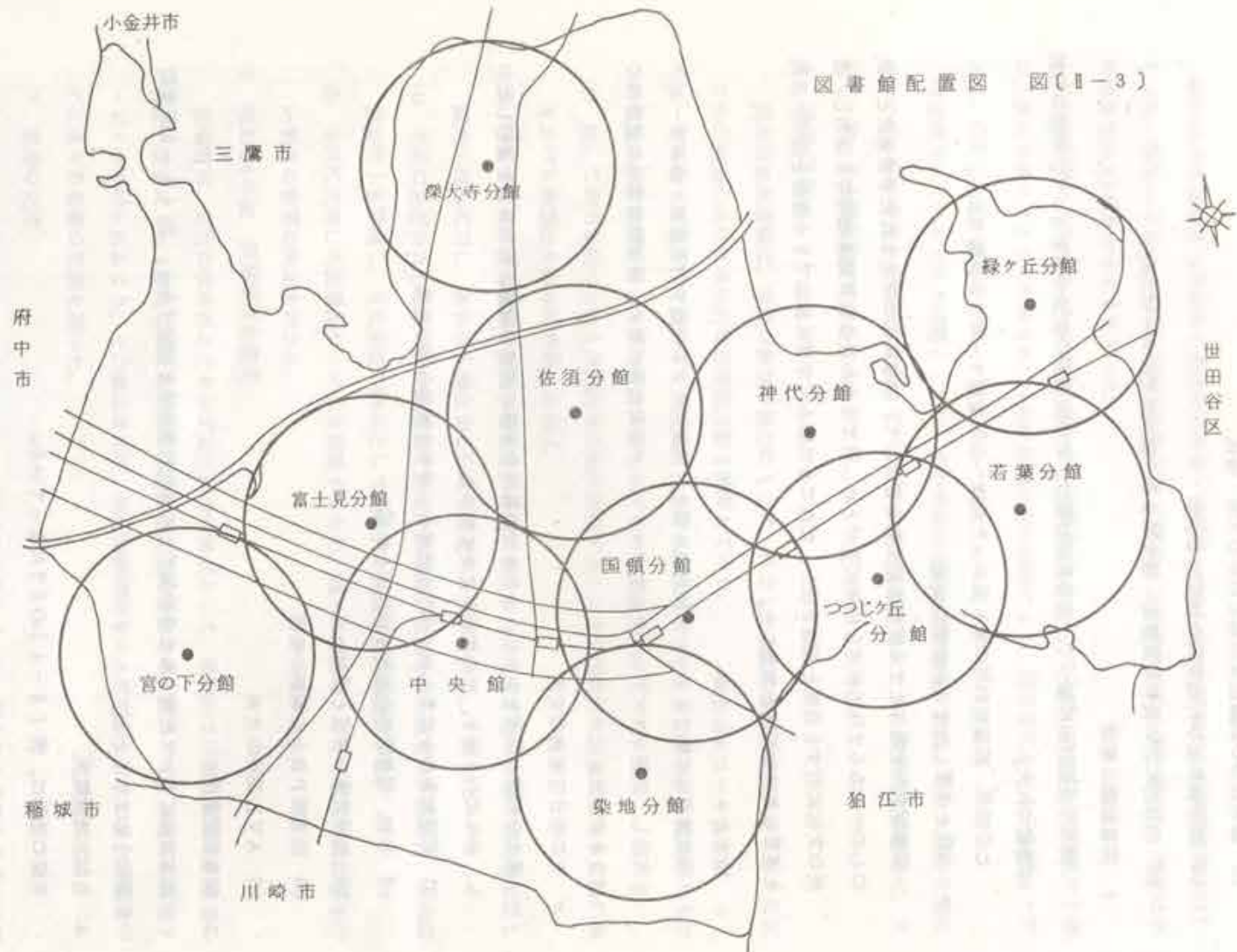
- (ウ) 児童対象のおはなし会、小学生読書会、中学生読書会等の実施
- (イ) 学校、保育園等他施設及び地域との協力
- (ロ) 地域文庫の育成と援助
- (ハ) 図書館PRと広報紙の発行
- (ニ) AVL業務の充実

3. 図書館配置図

基本計画に基づいて配置された各分館ごとに奉仕対象地域を設定すると、図〔II-3 図書館配置図〕のようになる。

4. 各館別施設概況

各館の施設は、表〔II-4〕のようになっている。



図書館配置図 図(II-3)

施設状況表(II-4)

昭和59年3月31日現在

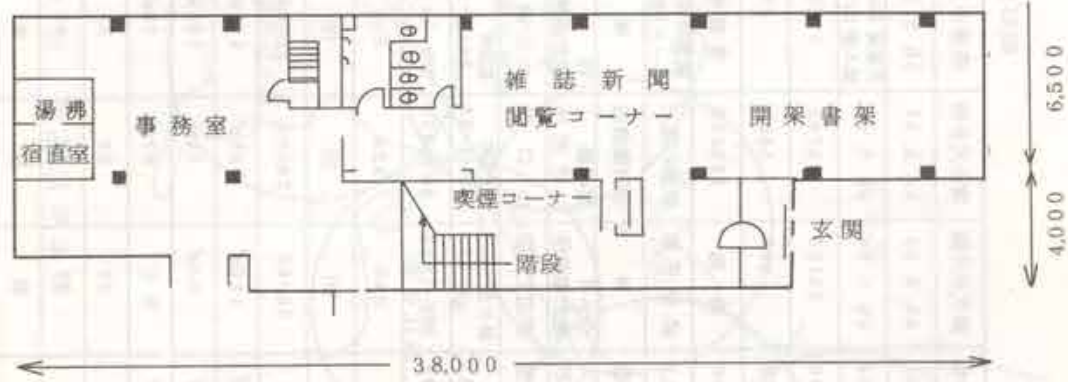
	中央館	国領分館	つつじヶ丘分館	深大寺分館	神代分館	宮の下分館	緑ヶ丘分館	富士見分館	若葉分館	柴地分館	佐須分館	
竣工年月日	41.3.31	44.3.31	45.3.28	46.2.28	46.3.31	47.3.31	49.3.31	49.3.31	50.3.31	55.5.19	57.3.31	
開館日	41.6.10	44.8.14	45.7.20	46.7.24	46.10.1	47.7.24	49.7.20	49.7.20	児童室 50.4.12 成人室 50.7.5	55.6.6	57.7.13	
建設費(千円)	17,348	9,120	3,774	13,800	17,080	18,000	30,190	30,793	77,654	東京都負担	143,651	
敷地面積(m ²)	628	1,723	270	826	1,980	2,000	800	1,653	879	1,644	2,166	
土地購入費(千円)	市有地	53,100	借地	27,497	84,000	80,000	借地	162,000	市有地	借地	92,867	
建築物の造り	鉄筋2階建	鉄筋の階上	コンクリートブロック	鉄骨平家	鉄筋の階上	鉄筋の階上	鉄骨平家	鉄筋の階上	鉄筋コンクリート2階建	鉄筋コンクリート3階建 1階部分	鉄筋の階上	
併設・単独	単	保育園併設	単	単	保育園併設	保育園併設	単	保育園併設	単	地域福祉センター 都営住宅併設	児童館併設	
設計事務所	和設計事務所	坂井設計事務所	和設計事務所	坂井設計事務所	坂井設計事務所	葵建築研究所	つかさ設計事務所	葵建築研究所	和設計事務所	都市建築計画センター	相和技術研究所	
工事請負会社	石原建設	高尾建設	内村建設	増岡建設	増岡建設	白石建設	田辺工務店	山口組	大栄建設	藤田建設	東海建設	
所在地	布田 4-17-5	国領町 3-12-1	西つつじヶ丘 4-23-6	深大寺町 2266-14	西つつじヶ丘 1-40-5	上石原 3-34-10	緑ヶ丘 2-25	富士見町 2-3-26	若葉町 3-16-13	柴地 3-3-1	佐須町 657	
電話	88-5181	84-2000	85-2000	85-3350	85-0054	86-5798	300-7672	85-4376	309-3411	88-8393	85-1306	
床面積(m ²)	609	304	113	257	339	324	240	324	516	482※※ (192)	605	
職員(司書)	15(8)	(3)	(2)	(3)	(3)	(3)	(3)	(2)	(5)	(3)	(3)	
蔵書能力(冊)	50,000	30,000	10,000	24,000	26,000	23,000	20,000	20,000	34,000	35,000	開架 35,000 閉架 50,000	
施設の概況	一般室	230m ²	175m ²	26m ²	90m ²	126m ²	111m ²	120m ²	136m ²	146m ²	245m ²	
	児童室	63m ²	71m ²	52	63m ²	72m ²	56m ²	64m ²	56m ²	123m ²	80m ²	
	集会室	なし	なし	なし	28m ²	52m ²	66m ²	なし	63m ²	78m ²	なし	
	成人用座席	60	30	4	24	30	32	20	24	24	12	24
	児童用座席	30	30	(18)	30	30	30	30	30	40	12	12
冷暖房設備	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	有	

※中央館職員 15人 (内訳) 管理職 1 一般職 4 司書 8 技能職 1 警備員 1
 ※※ () 内は共用部分

中央館 施設平面図 (縮尺1/300)

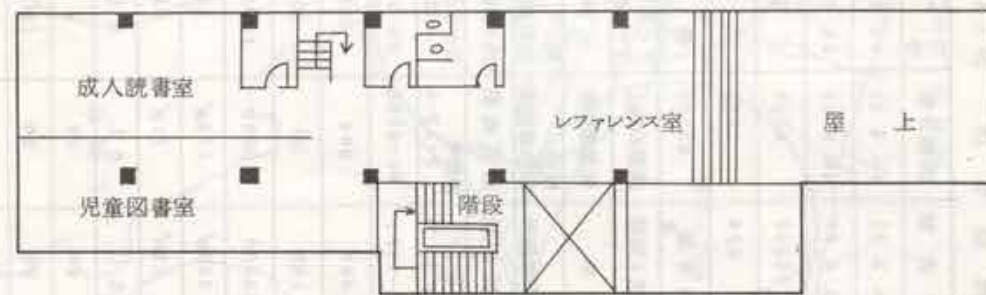
(1階)

1階 床面積約 3818㎡



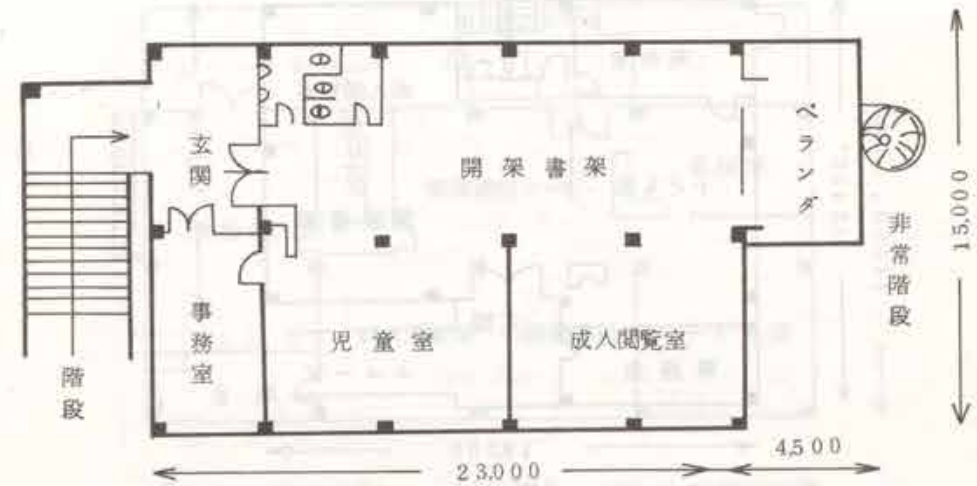
(2階)

2階 床面積約 227.5㎡



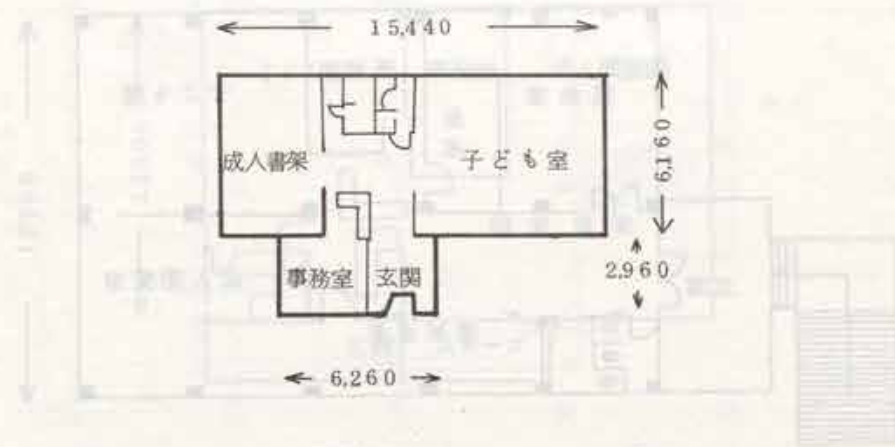
国領分館 施設平面図 (縮尺1/300)

床面積約 304㎡



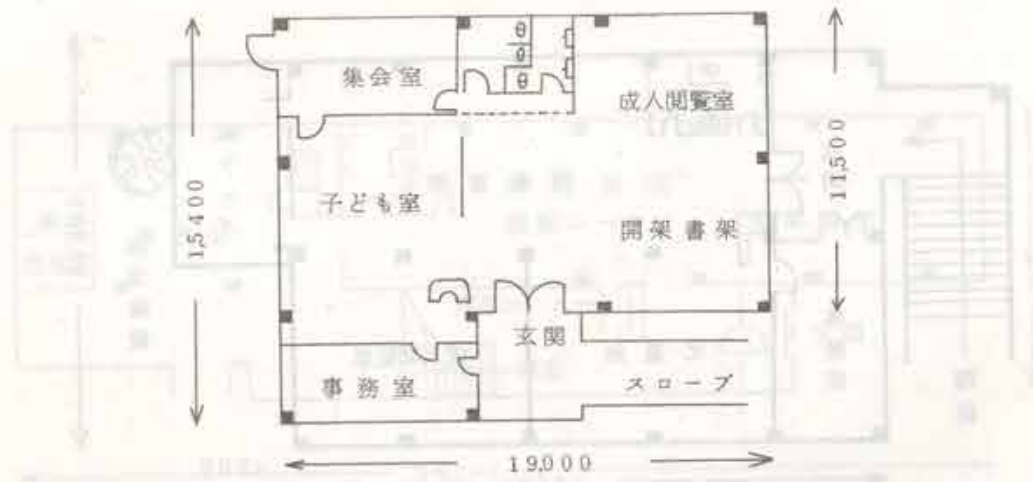
つつじヶ丘分館 施設平面図 (縮尺1/300)

床面積約 113㎡



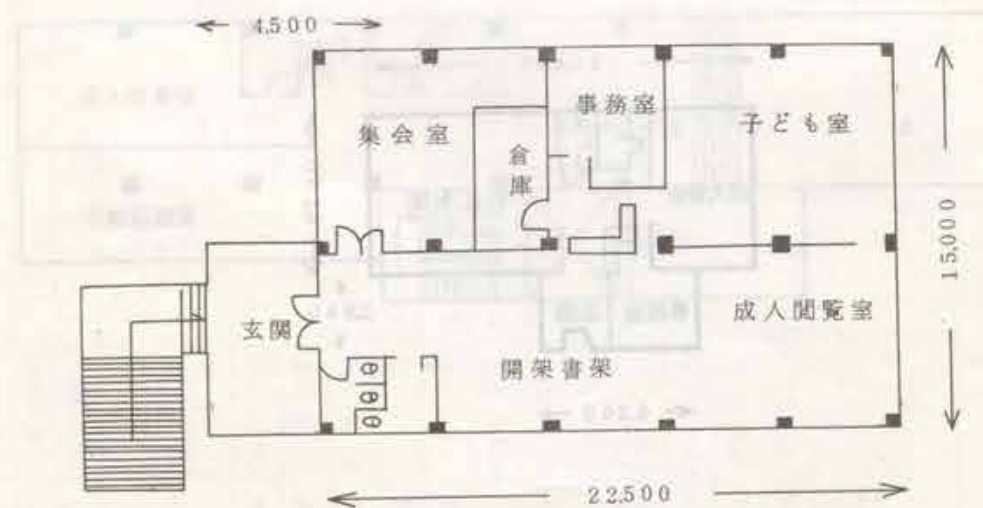
深大寺分館 施設平面図 (縮尺1/300)

床面積約 257㎡



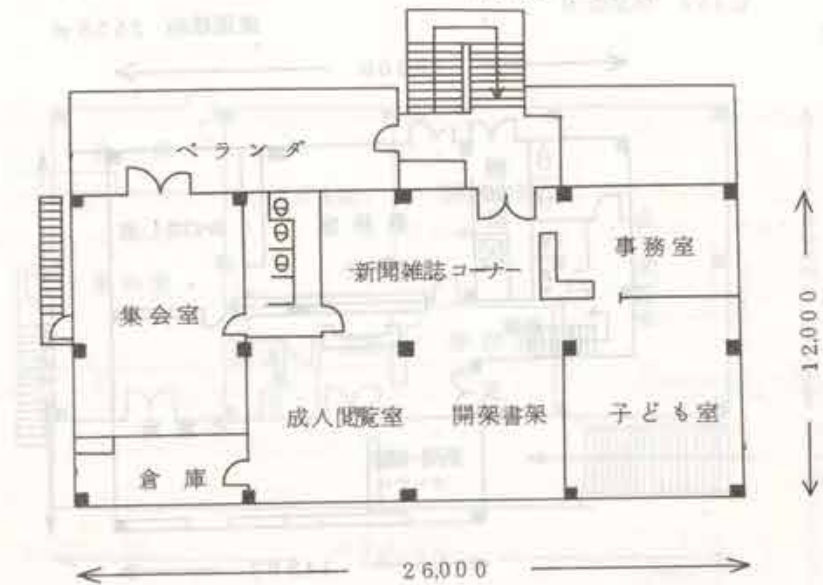
神代分館 施設平面図 (縮尺1/300)

床面積約 339㎡



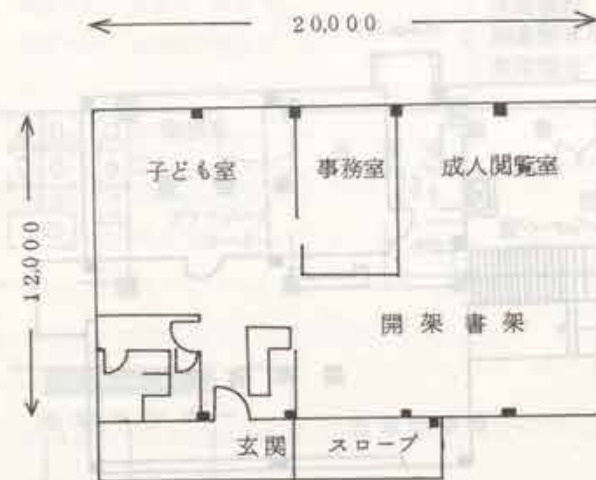
宮の下分館 施設平面図 (縮尺1/300)

床面積約 324㎡



緑ヶ丘分館 施設平面図 (縮尺1/300)

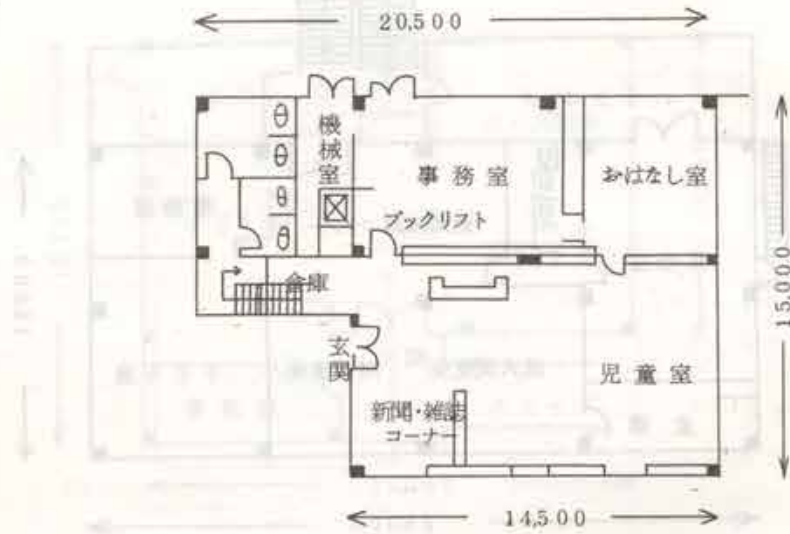
床面積約 240㎡



若葉分館 施設平面図 (縮尺1/300)

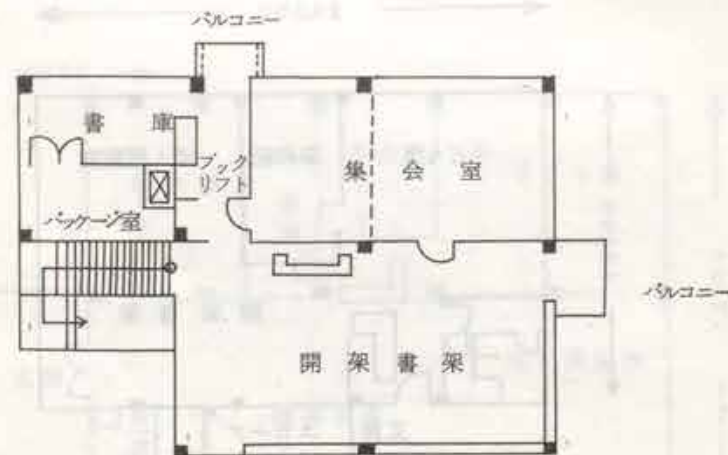
床面積約 255.8㎡

1 階



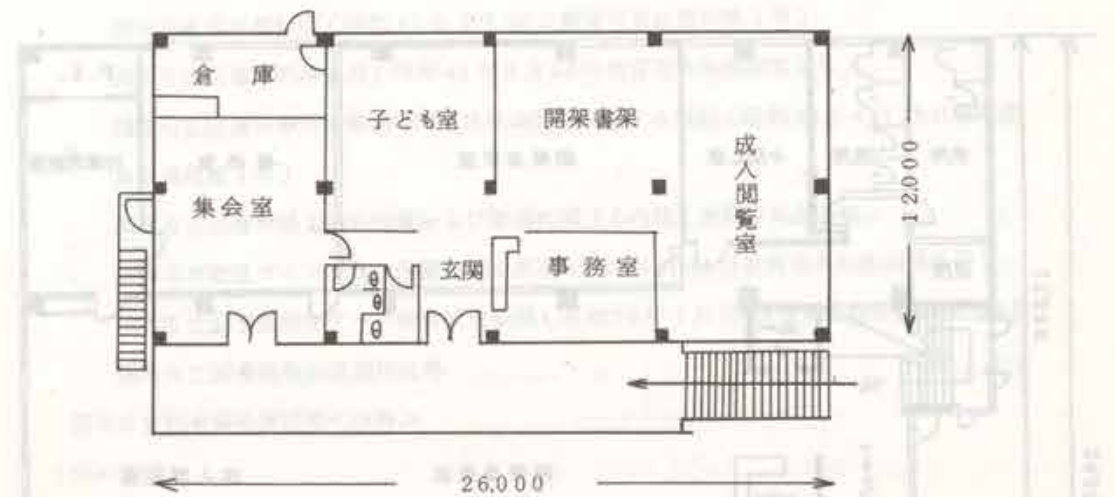
2階 床面積約 259.6㎡

2 階



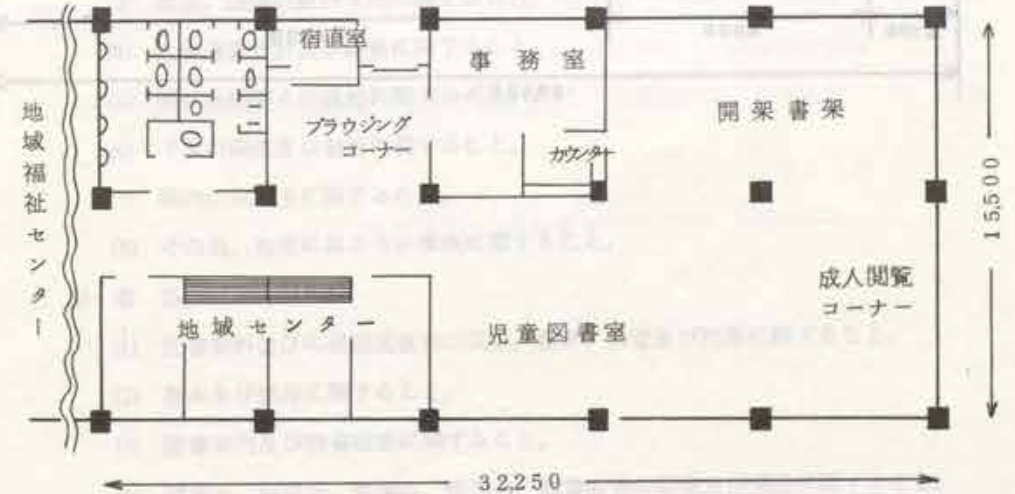
富士見分館 施設平面図 (縮尺1/300)

床面積約 324㎡



染地分館 施設平面図 (縮尺1/300)

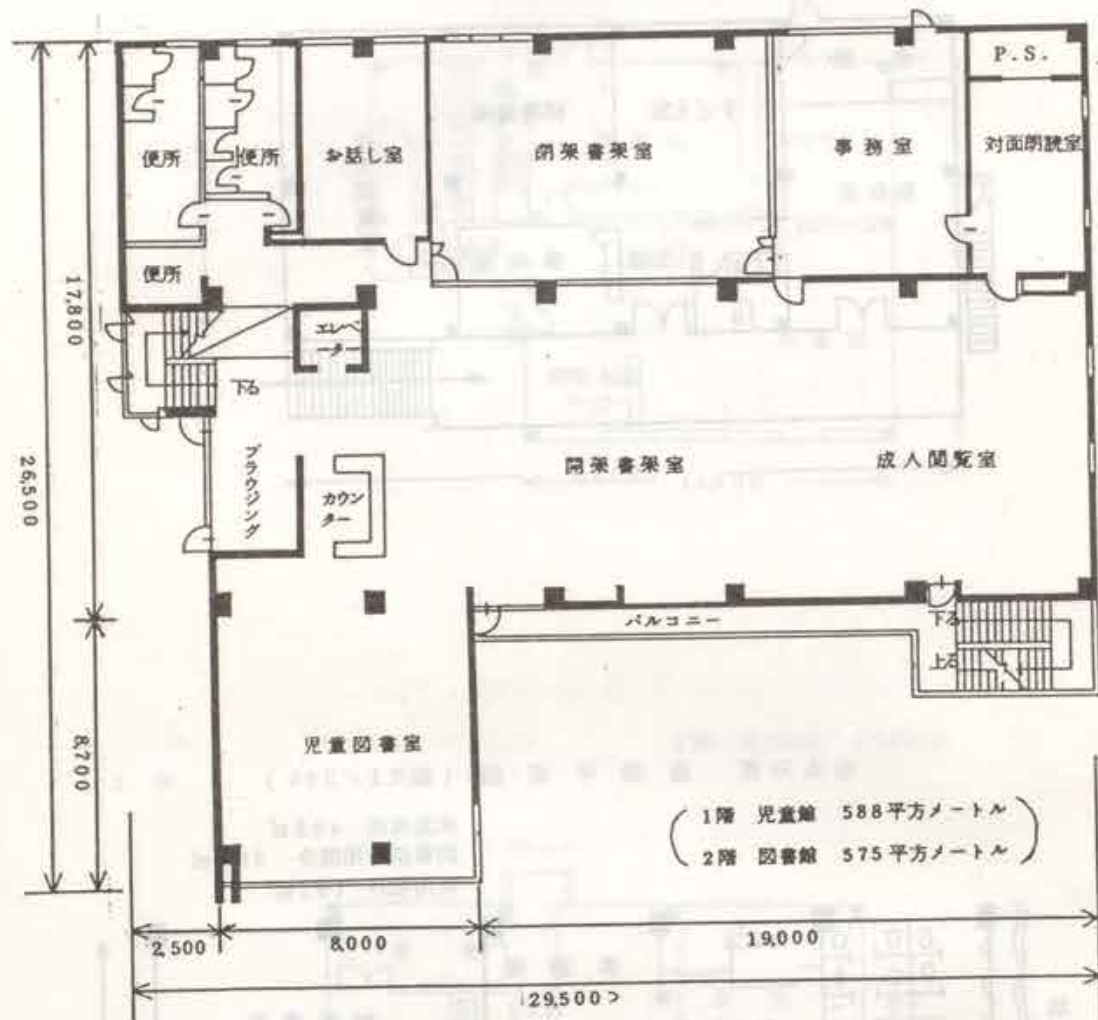
床面積約 482㎡
図書館専用部分 290㎡
共用部分 192㎡



佐須分館施設平面図

(縮尺 1/200)

床面積約 575 ㎡



(1階 児童館 588平方メートル)
(2階 図書館 575平方メートル)

5. 運営組織と事務分掌

図書館運営に関する条例、規則は次のとおりである。

調布市立図書館設置条例(昭和41年3月30日条例第10号)

調布市立図書館館則(昭和41年3月30日教育委員会規則第1号)

調布市立図書館処務規程(昭和41年3月30日教育委員会規程第1号)

調布市立図書館職員の勤務時間・休憩時間等に関する規程(昭和41年4月16日教育委員会規程第4号)

調布市立図書館協力員の設置および勤務に関する内規(教育委員会内規)

調布市視聴覚ライブラリー設置規則(昭和45年11月11日教育委員会規則第5号)

調布市立図書館録音テープ図書貸出要綱(昭和56年7月25日教育委員会要綱第3号)

調布市立図書館集会室使用基準

調布市立図書館処務規程<抜粋>

(係の設置)

第2条 館に次の係を置く。

(1) 庶務係

(2) 図書係

(分掌事務)

第3条 各係の分掌事務は、次のとおりとする。

庶務係

- (1) 公印の保管に関する事。
- (2) 文書の收受、発送に関する事。
- (3) 施設、設備の維持管理に関する事。
- (4) 企画運営統計及び調査に関する事。
- (5) 関係各機関との連絡に関する事。
- (6) 予算の編成及び執行に関する事。
- (7) 館内の取締りに関する事。
- (8) その他、他係に属さない事項に関する事。

図書係

- (1) 図書資料並びに視聴覚資料の収集、整理、保管及び利用に関する事。
- (2) 整本及び修理に関する事。
- (3) 読書案内及び読書相談に関する事。
- (4) 読書会、研究会、講演会、映写会、鑑賞会等の開催及び奨励に関する事。

- (5) 郷土資料に関すること。
- (6) 図書室の利用並びに管理に関すること。
- (7) 図書資料の相互貸借に関すること。

調布市立図書館協力員の設置および勤務に関する内規

- 第 1 条 図書館活動の振興と、市民と図書館の連帯を深めるため、図書館協力員（以下「協力員」という。）を置く。
- 第 2 条 協力員は、図書館長の指導のもとに、図書館職員に協力し、業務に従事する。
- 第 3 条 協力員は、図書館長の推せんにより、教育長が委嘱する。
- 第 4 条 協力員の定数は10名以内とする。
- 第 5 条 次の各号の一に該当する者は、協力員になることはできない。
 - (1) 禁治産者および準禁治産者
 - (2) 禁錮以上の刑に処せられた者
- 第 6 条 協力員が、次の各号の一に該当する場合は委嘱を解くことができる。
 - (1) 自己の都合により解嘱を申し出た場合
 - (2) 刑事事件に関して起訴された場合、または、協力員としてふさわしくない非行があった場合
 - (3) 予算の減少その他教育長が委嘱を解くことを適当と認めた場合
- 第 7 条 協力員の勤務日数は、原則として週4日とする。ただし、図書館長が特に必要があると認めるときは、これを変更することができる。
 - 2 協力員の勤務時間は、午後1時から午後5時30分までとする。
- 第 8 条 協力員の報償費は、調布市における臨時的職員（一般事務）賃金の時等相当額に、勤務時間を乗じた額に見合程度とする。
- 第 9 条 協力員は、所定の様式により日誌を作成し、図書館長に提出するものとする。

附 則

この内規は、昭和50年4月1日から施行する。

調布市立図書館録音テープ図書貸出要綱

第 1 目的

この要綱は、一般出版物のままでは図書資料を利用できない者に授業、調査、レクリエーション等に係る聴覚資料（以下「録音テープ図書」という。）を貸し出すことにより、図書館利用の拡大を図ることを目的とする。

第 2 対象

録音テープ図書の貸出を受けることができる者（以下「利用者」という。）は、次の各号の一に該当するものとする。

- (1) 視覚障害者
- (2) 寝たきり老人
- (3) 重度の肢体不自由者
- (4) 前各号に掲げるもののほか、図書館長が適当と認めたる者

第 3 利用方法

録音テープ図書の利用方法は、調布市立図書館館則（昭和41年調布市教育委員会規則第1号）第6条、第9条及び第10条の規定の例による。ただし、図書館長が特に必要があると認めるときは、この限りでない。

2 第2第1号に規定する者の利用方法は、郵便法（昭和22年法律第165号）第26条第1項第3号の規定により、差し出すことができる。

第 4 損害賠償の義務

利用者は、録音テープ図書の利用に際し、当該録音テープ図書を故意又は重大な過失により、亡失又は著しく汚損若しくはき損した場合は、現品又は相当の代価をもって損害額を賠償しなければならない。

附 則 この要綱は、昭和56年8月1日から施行する。

調布市立図書館集会所使用基準

第1 この基準は、調布市立図書館集会所(以下「集会所」という。)の使用について、必要な事項を定めるものとする。

第2 集会所の名称及び収容人員は、次のとおりとする。

名 称	収 容 人 員
調布市立図書館深大寺分館集会所	30人
調布市立図書館神代分館集会所	30人
調布市立図書館宮の下分館集会所	40人
調布市立図書館富士見分館集会所	40人
調布市立図書館若葉分館集会所	55人

第3 集会所の使用時間は、休館日を除き、次のとおりとする。ただし、調布市立図書館長(以下「館長」という。)が、特に必要があると認めるときは、この限りでない。

	午 前	午 後	夜 間
時間	9時30分から 12時まで	1時から 5時まで	6時から 9時まで

備考 神代分館集会所及び若葉分館集会所は、夜間の使用ができないものとする。

第4 集会所を使用しようとする者は、使用申請書(第1号様式)を館長に提出し、その承認を受けなければならない。

2 前項に規定する使用申請書の提出は、使用しようとする日(以下「使用日」という。)の1月前(その日が休館日に当たるときは、その直後の開館日)から、使用日の前日(その日が休館日に当たるときは、その前日)までとする。ただし、館長が特に必要があると認めるときは、この限りでない。

3 集会所の使用は、官公署及び市民団体並びに市民サークルが主催する会議又は催物とし、個人が主催する催物等は使用できないものとする。

第5 使用の承認は、申込みの順序による。ただし、申込みが同時のときは、協議若しくは抽せんにより定める。

2 館長は、第4の申請について使用を承認したときは、使用承認書(第2号様式)を当該申請をした者に交付する。

第6 使用の承認を受けた者(以下「使用者」という。)が第4の規定により承認を受けた事項を変更するときは、その内容を速やかに館長に届け出て、その承認を受けなければならない。

第7 館長は、次の各号の一に該当すると認めるときは、その使用を承認しない。

- (1) 公益を害し、風俗を乱すおそれがあるとき。
- (2) 営利を目的として使用するとき。
- (3) 管理上支障があるとき。
- (4) 前各号に掲げるもののほか、館長が使用を不相当と認めるとき。

第8 集会所の使用は、無料とする。

第9 使用者又は入場者は、係員の指示に従って、次の各号に掲げる事項を守らなければならない。

- (1) 入場人員は、適正収容人員を標準とすること。
- (2) 施設及び設備の管理を適正に行うこと。
- (3) 火気又は電熱器等を使用するときは、あらかじめ係員の許可を受け、火災予防及び事故防止に万全を期すること。
- (4) 集会所での飲食はしないこと。ただし、館長が特に必要があると認めるときは、この限りでない。
- (5) 館長の許可なく、物品を販売し、又は金品の寄附募集等を行わないこと。
- (6) 環境衛生上思わしくないものを持ち込み、又は使用しないこと。
- (7) 図書館利用者及び近隣住民の迷惑となるような行為を行わないこと。
- (8) 前各号に掲げるもののほか、館長が特に必要があると認めるとき。

第10 館長は、使用者が次の各号の一に該当すると認めるときは、使用の承認を取消し、又は使用を制限し、若しくは停止することができる。

- (1) 使用の目的に違反したとき
- (2) この基準、又は承認の条件に違反したとき。
- (3) 著しく騒音又は振動若しくは臭気を発する行為があったとき。
- (4) 災害その他の事故により、集会所の使用ができなくなったとき。
- (5) 工事その他の都合により、館長が特に必要があると認めるとき。

第11 第3に規定する集会所の夜間使用については、次の各号に掲げるところによる。

- (1) 使用者は、使用日午後5時までに係員と鍵の受渡しを行うこと。
- (2) 使用者は、集会所の使用を終了したときは、鍵を所定の位置へ返納すること。

第12 使用者は、集会所の使用を終了したときは、施設及び設備を原状に回復しなければならない。又、第10の規定により、使用を停止され、若しくは使用の承認を取り消されたときも同

様とする。

第13 使用者は、集会室の使用を終了したときは、使用報告書(第3号様式)を館長に提出しなければならない。

2. 前項に規定する使用報告書は、使用終了後直ちに提出するものとする。又、夜間に使用した場合は、第11第2号に規定する鍵の返納と共に所定の位置に提出するものとする。

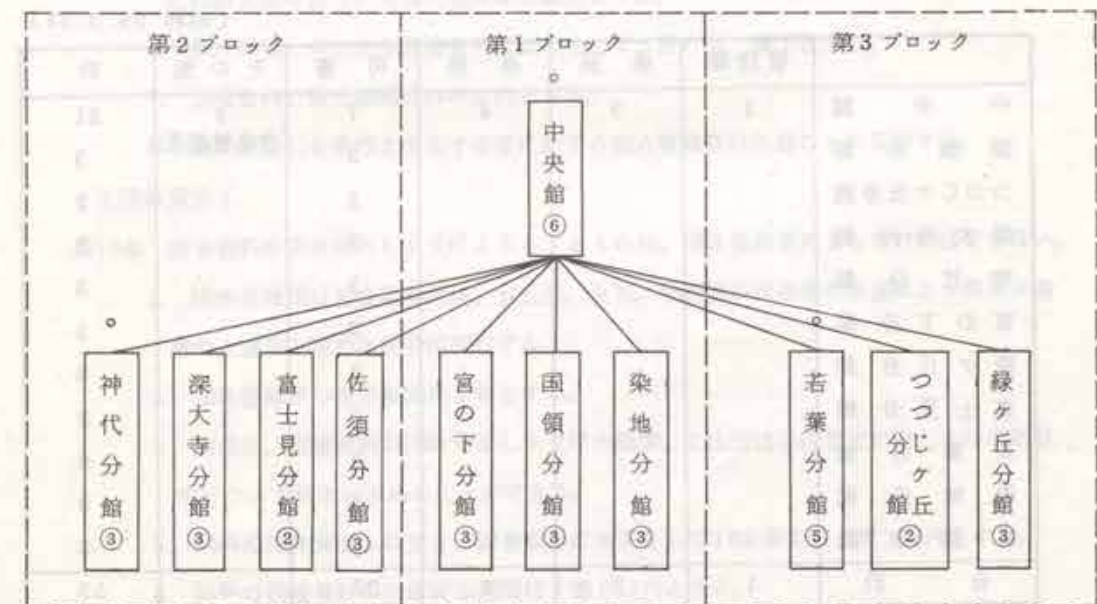
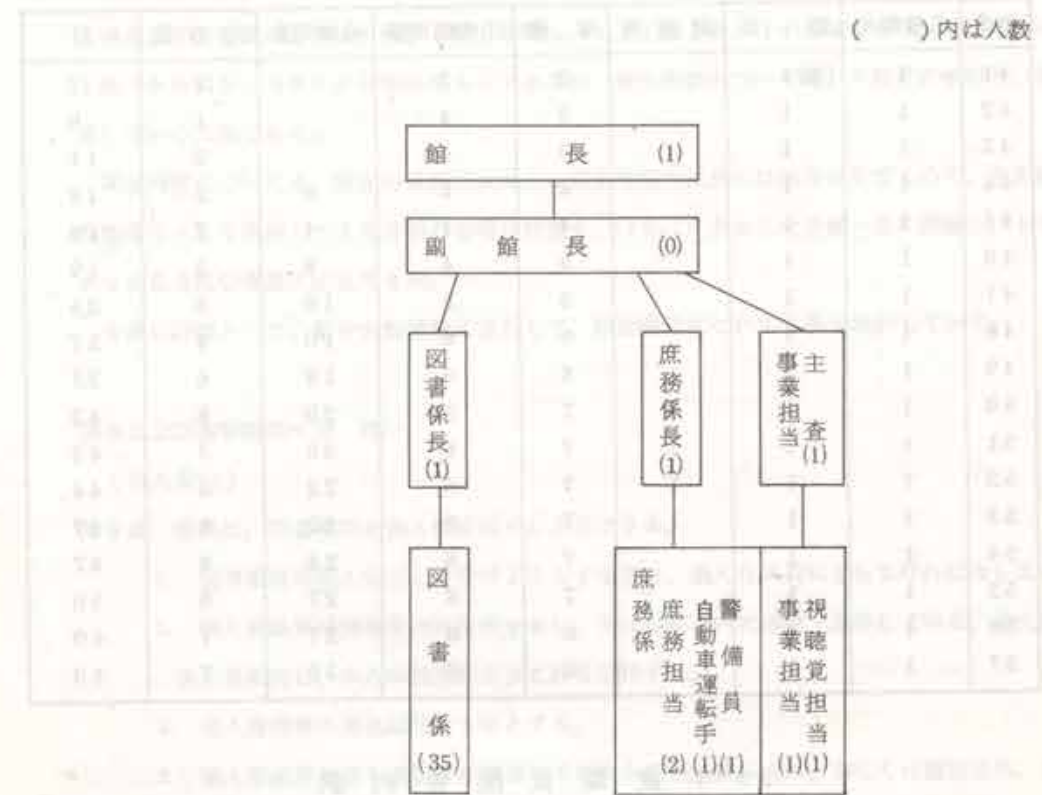
第14 使用者は、集会室の使用に際し、施設及び設備等に損害を生ぜしめた場合は、館長が相当と認める損害額を賠償しなければならない。ただし、館長がやむを得ない理由があると認めるときは、その額を減額し、又は免除することができる。

附 則

この基準は、昭和57年9月1日から施行する。

昭和59年3月31日現在

()内は人数



○内は司書数

年度別職員数の推移

年度	名誉館長	館長	副館長	事務	中央館司書	分館司書	その他	計
41	1	(兼)1		2	2		1	7
42	1	1		2	4		1	9
43	1	1		3	4		2	11
44	1	1		4	4	2	2	14
45	1	1		4	4	4	2	16
46	1	1		3	4	8	2	19
47	1	1		5	5	10	3	25
48	1	1		5	6	10	4	27
49	1	1		6	5	18	6	37
50	1	1	1	7	5	20	8	43
51	1	1	1	7	6	20	7	43
52	1	1	1	7	6	22	6	44
53	1	1	1	7	6	23	8	47
54	1	1		7	6	24	8	47
55	1	1		7	6	27	8	50
56	1	1		8	6	27	7	50
57	1	1		6	8	30	7	53

58年度職員配置内訳

(昭和 59. 3. 31)

	管理職	係長	事務	司書	その他	計
中央館	1	3	4	7	6	21
国領分館				3	(含名誉館長)	3
つつじヶ丘分館				2		2
深大寺分館				3		3
神代分館				3		3
宮の下分館				3		3
緑ヶ丘分館				3		3
富士見分館				2	1	3
若葉分館				5	1	6
染地分館				3		3
佐須分館				3		3
合計	1	3	4	37	8	53

※ 事務とは司書以外の一般職員

※ その他とは協力員、委託要員、社会教育指導員等

6. 貸出制度と開館時間 表〔1-6〕

調布市立図書館の図書貸出冊数と貸出期間は、1人1回2冊、14日間である。これは1人1冊10日間を、49年から改めたものであるが、貸出冊数については、今後更に検討し、増冊していく方向である。

開館時間についても、現在の体制では大市な開館時間の延長には無理が生ずるので、当面館内整理日として活用してきた分館の金曜日休館を、57年10月から全分館一斉に開館し、わずかながら市民の要望に応じてきた。

今後の課題として、新中央館建設に並行して、開館時間についても鋭意検討していく。

調布市立図書館館則<抜粋>

(個人貸出)

第9条 館長は、図書資料を個人に貸出すことができる。

2. 図書資料の個人貸出しを受けようとする者は、個人登録票によらなければならない。
3. 個人登録票は調布市内に住居を有し、又は調布市内に通勤・通学している、身元確実な者に対し、本人の請求によりこれを交付する。
4. 個人登録票の有効期間は1年とする。
5. 個人登録票は貸与若しくは譲渡してはならない。貸与され、若しくは譲渡され、または紛失届の出された個人登録票は無効とする。
6. 個人貸出しの出来る図書資料は原則として2冊(部・種)とする。
7. 図書資料の貸出期間は14日以内とする。
8. 個人貸出しを受けようとする者に対する個人登録票は各館ごとに交付する。

(団体貸出)

第10条 図書資料の団体貸出しを受けようとするものは、団体登録票によらなければならない。

2. 団体登録票は社会教育団体、官公署、会社、学校等の代表者の申請により館長が審査の上適当と認められた場合に交付する。
3. 団体登録票の有効期間は1年とする。
4. 館長は、図書資料の団体貸出しを受けた機関、又は団体の代表者に対しその利用状況について報告を求めることができる。
5. 同時に団体貸出しのできる図書資料は原則として100冊(部・種)以内とする。
6. 同一の図書資料の団体貸出期間は3箇月以内とする。

開館時間と休館日

館名	開館時間	休館日
中央館	日曜日 10時30分～17時30分	月曜日
	火・土曜日 12時00分～19時00分	第3日曜日
	水・木・金曜日 12時00分～17時30分	第4金曜日
分館	毎日 13時00分～17時00分	
	ただし若葉分館は 日曜日のみ 10時30分～17時00分	

※ 休館日はこのほかに 国民の祝日（この日が月曜日の場合は翌日）
年末年始

各館の開館時間は、別表のように曜日によって異なっている。

中央館の場合は、週2回（火曜・土曜）夜間の利用者への配慮から開館時間を1時間30分延長している。

又、日曜日については、午前中からの利用にそなえ、中央館・若葉分館は、平常の開館時間を早やめ、午前10時30分から開館している。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
中央館	9	8	8	9	9	8	8	9	8	7	7	8	98
若葉分館	3	4	3	4	3	3	4	3	3	3	3	3	39
その他の分館	11	10	13	12	12	12	11	10	10	10	12	13	136
小計	23	22	24	25	24	23	23	22	21	20	22	24	273
国領分館	23	22	16	25	24	23	23	22	21	20	22	24	265
つじヶ丘分館	23	22	16	25	24	23	23	22	21	20	22	24	265
深大寺分館	23	22	16	25	24	23	23	22	21	20	22	24	265
神代分館	23	22	16	25	24	23	23	22	21	20	22	24	265
宮の下分館	23	22	16	25	24	23	23	22	21	20	22	24	265
緑ヶ丘分館	23	22	16	25	24	23	23	22	21	20	22	24	265
富見分館	23	22	16	25	24	23	23	22	21	20	22	24	265
柴地分館	23	22	16	25	24	23	23	22	21	20	22	24	265
佐須分館	23	22	16	25	24	23	23	22	21	20	22	24	265
若葉分館	3	4	3	4	3	3	4	3	3	3	2	3	39
小計	20	18	13	21	21	20	19	19	18	17	19	21	234
合計	23	22	16	25	24	23	23	22	21	20	22	24	273
合計	253	242	184	275	264	253	253	242	231	220	242	264	2923

※ 開館時間は、各館の案内板を参照してください。

表〔I-6〕 開館日数と開館時間

館名	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
		日数	時間	日数	時間	日数	時間	日数	時間	日数	時間	日数	時間	
中央館	火曜・土曜	9	8	8	9	9	8	8	9	8	7	7	8	98
	日曜	3	4	3	4	3	3	4	3	3	3	3	3	39
若葉分館	平日	11	10	13	12	12	12	11	10	10	10	12	13	136
	小計	23	22	24	25	24	23	23	22	21	20	22	24	273
国領分館	平日	23	22	16	25	24	23	23	22	21	20	22	24	265
	小計	23	22	16	25	24	23	23	22	21	20	22	24	265
つじヶ丘分館	平日	23	22	16	25	24	23	23	22	21	20	22	24	265
	小計	23	22	16	25	24	23	23	22	21	20	22	24	265
深大寺分館	平日	23	22	16	25	24	23	23	22	21	20	22	24	265
	小計	23	22	16	25	24	23	23	22	21	20	22	24	265
神代分館	平日	23	22	16	25	24	23	23	22	21	20	22	24	265
	小計	23	22	16	25	24	23	23	22	21	20	22	24	265
宮の下分館	平日	23	22	16	25	24	23	23	22	21	20	22	24	265
	小計	23	22	16	25	24	23	23	22	21	20	22	24	265
緑ヶ丘分館	平日	23	22	16	25	24	23	23	22	21	20	22	24	265
	小計	23	22	16	25	24	23	23	22	21	20	22	24	265
富見分館	平日	23	22	16	25	24	23	23	22	21	20	22	24	265
	小計	23	22	16	25	24	23	23	22	21	20	22	24	265
柴地分館	平日	23	22	16	25	24	23	23	22	21	20	22	24	265
	小計	23	22	16	25	24	23	23	22	21	20	22	24	265
佐須分館	平日	23	22	16	25	24	23	23	22	21	20	22	24	265
	小計	23	22	16	25	24	23	23	22	21	20	22	24	265
若葉分館	平日	3	4	3	4	3	3	4	3	3	3	2	3	39
	小計	20	18	13	21	21	20	19	19	18	17	19	21	234
合計	平日	23	22	16	25	24	23	23	22	21	20	22	24	273
	小計	253	242	184	275	264	253	253	242	231	220	242	264	2923

※ 曜日別開館時間

館名	平日			日曜	火・土曜
	開館時間	日数	時間		
中央館	5:30	7	7	7	7
若葉分館	4	6:30	4	4	4
その他の分館	4	4	4	4	4

7. 将来計画

図書館の建設は調布市の長期計画に基づいて進められてきた。

基本的には、下記の三原則を満たす分館配置をすることによって、市民の誰もが図書館を気軽に利用できるようにすることにある。

- (1) 人口2万人に一つの図書館
- (2) 半径800メートルに一つの図書館
- (3) 二つの小学校区に一つの図書館

このことにより、現在11館が活動しており図書館分館網の整備については、57年度佐須分館の開設により初期の目的は達成された。

しかし、市内全域をみた場合、長期計画策定後の人口動態等社会的変化により当初の計画からはみ出す地域に対する格差是正をはかっていかなければならない。

(新中央館構想)

昭和41年現中央館設置以来、地域に分館が建設されその蔵書数は、昭和58年度末341,378冊に達し、登録者数は年間41,818人、図書の貸出冊数は718,745冊に及んでいる。この様な状況にあつて各分館の中核機能を果たすべき現中央館は規模その他あらゆる面で限界をはるかに越え、一分館的機能しか果たえず図書館活動の全ての面で支障をきたしている。

従つて、早急に近代的な設備をととのえた新中央館の建設に着手する必要がある。

現在、考えられている構想としては、調布市における教育の総合施設としての教育会館構想の中で、図書館中央館の問題を検討している。これは、ただ単に図書館と他の施設との複合施設ではなく、教育行政の中核機関としての機能及び図書館中央館・公民館等社会教育実施機関としての機能を有する総合的な施設である。調布市をよりよい地域社会としていくためのあらゆる知的サービスが実現できる体制を整え、その中で図書館(市全域を網羅する図書館機能)を位置づけ、その役割を果たしていかなければならない。

(今後の課題)

- | | |
|---------------|--|
| (1) 館内サービスの充実 | <ul style="list-style-type: none"> ・充実したレファレンスサービス ・ゆったりとした読書環境をつくる ・市と奥行のある充分な資料を整備する ・各種の情報を積極的に提供していく |
| (2) 文化的事業の体系化 | <ul style="list-style-type: none"> ・各種サークルの指導体制の確立 ・広報活動を充実し図書館を地域に浸透させる ・市民の求める文化的事業を体系化し積極的に推進する |
| (3) 図書館運営の組織化 | <ul style="list-style-type: none"> ・サービスの体系化にともなう職員の体制を確立する ・利用者懇談会の開催 ・各種会議・研修の運営 |
| (4) 図書館施設の整備 | <ul style="list-style-type: none"> ・新中央館の建設 ・既設分館の拡充整備 ・社会教育施設等の積極的利用と提携 |

Ⅱ 蔵書

1. 年度別蔵書冊数 表〔Ⅱ-1〕

昭和58年度の蔵書数は18211冊増加して341,378冊となった。これは市民1人当たり1.88冊となり当面の目標としている市民1人当たり2冊の蔵書に大きく近づいている。

過去10年間の蔵書冊数の伸びをみると2倍強の伸びを示しているが、分館建設が急ピッチで進められて来た昭和40年代の状況と比べると当然のことながら鈍化している。分館における限られた蔵書収容能力の中では、蔵書をストックすることが不可能であるため、共同保存書庫の整備をはかり可能な限りの蔵書を蓄積し、市民の利用に応じていかなければならない。昭和59年度中に完成が予定されている中央自動車道高架下に建設する図書館共同保存書庫(収容予定冊数約20万冊)には、大きな期待がかかっている。

将来、新しい中央図書館が建設されると蔵書冊数は大巾に増加し、市民の書棚としての図書館はより一層充実した蔵書を用意することが期待されている。

2. 館別・分類別蔵書冊数 表〔Ⅱ-2〕

各館の蔵書構成は、文学を中心に社会科学、歴史、芸術、家庭等の分野に重点が置かれている。児童図書は全体の約30パーセントを占めており、分野における蔵書は利用頻度の高い部分を中心に整備せざるを得ないのが現状である。

このことは当市における各分館の規模が小さい(平均約330平方メートル、蔵書収容能力約25,000冊~30,000冊)ためであり、それによって収集範囲や収容能力が限定されてしまい、地域館としての機能を十分果たせないという大きな問題がある。今後の課題として、各館の規模の拡大や機能の充実をはかり充分な蔵書内容を持って図書館サービスが出来る体制作りを進めていく努力が必要である。

一方、中央館における蔵書構成は、全分野にわたって網羅的に収集していくことが原則とされているが、その体制は十分でなく各分野における欠落部分の補充が急がれるところである。現在の中央館は蔵書収容能力をはるかに超えた状況の中で図書資料の収集を行っているが、昭和57年7月開館した佐須分館の共同保存書庫を利用して、書架から溢れた図書を保存しているのが現状である。そのため市民の求める資料を所蔵しているにも拘らず直ちに提供出来ない悩みをかかえており、十分な書架スペースと保存機能を備えた新しい中央図書館が求められている。

3. 分類別購入冊数 表〔Ⅱ-3〕

図書の購入は各館ごとに選定し、購入している。選定にあたっては、先の館別分類別蔵書数にも示されている様に、分館においてはある程度分野を限って利用者の状況に合わせて選定している。

一方、中央館においては全ての分野を範囲として網羅的に選定し、基礎的な資料から専門的な資料へと奥行きを深めていく様配慮すると同時に、各図書館のセンターとしての役割をも果たしていかなければならない。

今年度は約36,000冊の図書購入があり昨年度とほぼ同数の図書を購入した。これは総蔵書数の10.6パーセントにあたる。

図書の年間購入冊数は、その利用の状況から見ると総蔵書数の約20パーセントを常に更新させることが望ましいと、専門的なデータでも明らかになっている。前にも述べた様に比較的小規模の分館の場合は、蔵書の新鮮度によって利用の状況が大きく左右され書棚の鮮度を維持することは大変重要なことと考えなければならない。年間購入冊数の総蔵書数に占める割合によって、蔵書の新鮮度を見ることができ、調布図書館の場合新鮮度は10.6パーセントであり、望ましい年間購入冊数の比率15～20パーセントを下回る結果となっており、利用者のリクエストに応じていくためにも更に購入図書の充実をはからなければならない。

なお、つつじヶ丘分館の成人用図書は若葉分館より定期的に配本を行ない(常備冊数約3,000冊)利用者へ提供している。図書の内容は、文学(主に小説、エッセイ等)、家庭、趣味、旅行案内等を中心に備えている。

4. 分類別寄贈受入冊数 表〔Ⅱ-4〕

市民からの図書の寄贈は、日常的に行なわれ市民図書館としての認識の高まりを示している。寄贈された図書は当館の受入基準と照し合せ可能な限り受入れしている。

今年度の寄贈受入冊数は、3,542冊を受入れたが昨年度より約1,500冊減となった。今後の課題としては、図書館の求めている図書資料(現在購入出来ない資料、保存雑誌等のバックナンバー等)を広く市民にPRし、積極的な収集をはかっていきたい。

又、市民図書館としては不可欠な資料である調布市に関する資料(郷土資料)の収集についても市民の協力を得て埋もれている資料の発掘に努めていきたい。

5. 分類別除籍冊数 表〔Ⅱ-5〕

分館における蔵書の寿命は受入後約5～6年を経過すると一般的な利用は殆んどなくなってしまふ。特に規模の小さい場合にはその傾向が顕著である。

そのため各分館では、利用頻度の低下したものを書架から外し、蔵書の鮮度を維持し魅力のある書架をつくっていく必要がある。

この様に定期的に書架を点検し、利用の少ない図書や傷んだ図書を抜き出して新しい図書を補充していかないと、折角の新刊を書架に並べても書架の中に埋もれてしまふ魅力のない書架(蔵書)となってしまふ。

今年度は、総蔵書数の約6.3パーセントを除籍したが、このうち約4.8パーセントが児童書で

あり、次いで、文学書(2.26%)、社会科学(7.6%)、工学・家庭(6.3%)の順になっており、利用の状況にはほぼ比例した結果となっている。

6. 館別蔵書整備計画

各館における蔵書収容能力は平均約30,000冊であり、歴史の新しい2～3館を除いては、既に収容能力を越えているのが現状である。しかし、常に新鮮な蔵書を求めている市民に対し限られたスペースしか持たない分館の場合は、蔵書の量よりも内容によって市民の期待に応えていかなければならない。

そのためには、蔵書の15～20パーセントの更新が必要であることは、前述したとおりである。57年度までの「数字で見る図書館活動」では、各館における年度別の蔵書計画試案が示されていたが、各館における蔵書収容能力に限界を来している現在、この様な蔵書の量的な計画を具体的に示すことはあまり重要な意味を持たなくなってきた。

従って、58年度の報告書には掲載しないが、図書館にとって最も重要な蔵書の整備については、毎年総蔵書数の20パーセントの冊数を常に補充していくことを目標に、より一層充実させる努力をし、各館から溢れた蔵書は共同保存書庫の有効的な活用をはかり、市民の役に立つ蔵書(財産)づくりを進めていかなければならない。

又、日常的に利用される蔵書とは別に、調布市の図書館として郷土に係る人々の著作や、郷土に関する資料等、地域の図書館においてこれらの資料をコレクションとして収集することは、非常に重要な意味を持ち調布市立図書館の蔵書を構築していく上で大きな柱となるものであり、今後これらの分野にも積極的な姿勢で取り組んでいきたい。

年度別蔵書の推移

年度 分類	41		49		50		51		52	
	冊数	構成比(%)	冊数	構成比(%)	冊数	構成比(%)	冊数	構成比(%)	冊数	構成比(%)
T 郷土資料										
0 総記	492	5.3	5,076	3.3	6,137	3.3	6,795	3.3	7,345	3.4
1 哲学・宗教	455	4.9	3,860	2.5	4,638	2.5	4,972	2.4	5,403	2.5
2 歴史・地理	898	9.7	10,502	6.9	13,047	7.0	14,515	7.1	15,538	7.2
3 社会科学	10,69	11.6	14,802	9.7	17,323	9.5	19,392	9.5	20,817	9.6
4 自然科学	442	4.8	6,762	4.4	8,261	4.5	8,964	4.4	9,925	4.5
5 工業・家庭	321	3.5	6,582	4.3	8,086	4.4	9,166	4.5	10,022	4.6
6 産業・交通	213	2.3	1,897	1.3	2,349	1.3	2,544	1.3	2,825	1.3
7 芸術・スポーツ	467	5.0	8,288	5.4	10,418	5.5	11,583	5.7	12,901	6.0
8 語学	195	2.1	1,809	1.3	2,383	1.3	2,523	1.2	2,788	1.4
9 文学	3,394	36.7	39,423	25.9	48,740	27.0	55,962	27.6	60,017	27.8
小計	7,946	86.0	99,001	65.0	121,382	66.3	136,416	67.0	147,581	68.3
指数	100		1,246		1,528		1,717		1,857	
児童書	1,308	14.0	53,375	35.0	61,570	33.7	67,312	33.0	68,412	31.7
指数	100		4,080		4,707		5,146		5,230	
合計	9,254	100	152,376	100	182,952	100	203,728	100	215,993	100
指数	100		1,647		1,977		2,202		2,334	
市民1人当り	0.07冊		0.90冊		1.07冊		1.18冊		1.24冊	

(昭和49年度～昭和58年度) 表[Ⅱ-1]

53		54		55		56		57		58	
冊数	構成比(%)	冊数	構成比(%)	冊数	構成比(%)	冊数	構成比(%)	冊数	構成比(%)	冊数	構成比(%)
				228	0.1	1,017	0.3	1,229	0.4	1,682	0.5
7,825	3.4	8,546	3.5	9,457	3.5	10,485	3.5	11,195	3.5	12,028	3.5
5,791	2.5	6,188	2.5	6,874	2.5	7,780	2.6	8,233	2.5	8,774	2.6
17,040	7.4	18,537	7.5	20,801	7.6	23,030	7.6	24,717	7.6	26,402	7.7
22,450	9.7	23,942	9.7	26,058	9.6	28,438	9.5	30,427	9.4	32,845	9.6
10,538	4.6	11,381	4.6	12,437	4.6	14,098	4.6	15,036	4.7	16,059	4.7
11,035	4.8	11,962	4.8	13,733	5.0	15,449	5.1	16,577	5.1	17,472	5.1
3,096	1.3	3,412	1.4	3,880	1.4	4,427	1.5	4,822	1.5	5,064	1.5
13,972	6.0	15,207	6.2	17,956	6.6	20,613	6.8	21,917	6.8	23,468	6.9
3,006	1.3	3,251	1.3	3,675	1.3	4,232	1.4	4,626	1.4	4,896	1.4
64,654	28.0	69,176	28.1	76,988	28.2	86,226	28.4	92,051	28.5	97,902	28.7
159,407	69.0	171,602	69.6	192,087	70.4	215,795	71.3	230,830	71.4	245,92	72.2
2,006		2,160		2,417		2,716		2,905		3,103	
71,587	31.0	74,840	30.4	80,480	29.6	86,839	28.7	92,337	28.6	94,786	27.8
5,470		5,722		6,152		6,639		7,059		7,247	
230,994	100	246,442	100	272,567	100	302,634	100	323,167	100	341,378	100
2,497		2,663		2,945		3,270		3,492		3,689	
1.32冊		1.41冊		1.55冊		1.69冊		1.79冊		1.88冊	

館別・分類別蔵書冊数 表(Ⅱ-2)

分類 \ 館名	中央館	国領分館	つつじヶ丘分館	深大寺分館	神代分館	宮の下分館
郷土資料	1,682	—	—	—	—	—
総記	5,642	696	—	640	711	562
哲学・宗教	3,155	766	—	519	689	543
歴史・地理	7,105	2,403	—	2,157	2,226	2,309
社会科学	11,555	3,036	—	2,049	2,531	1,917
自然科学	3,490	1,655	—	1,354	1,398	1,432
工業・家庭	2,325	1,694	—	1,619	1,724	1,627
産業・交通	1,085	466	—	374	504	466
芸術・スポーツ	4,998	1,965	—	2,112	2,100	2,134
語学	1,208	377	—	428	377	438
文学	20,561	9,041	—	8,467	8,191	8,129
小計	62,806	22,099	—	19,719	20,451	19,557
児童書	16,497	7,968	7,199	8,199	7,816	8,174
合計	79,303	30,067	7,199	27,918	28,267	27,731

[昭和59.3.31]

緑ヶ丘分館	富士見分館	若葉分館	染地分館	佐須分館	合計	%
—	—	—	—	—	1,682	0.5
532	921	994	747	583	12028	3.5
468	489	771	645	729	8,774	2.6
1,709	1,710	2,947	1,938	1,898	26,402	7.7
2,016	2,118	3,165	2,377	2,081	32,845	9.6
1,144	1,137	1,817	1,078	1,554	16,059	4.7
1,641	1,426	2,510	1,476	1,430	17,472	5.1
399	364	588	373	445	5,064	1.5
1,609	1,688	2,769	2,218	1,875	23,468	6.9
352	385	538	428	365	4,896	1.4
7,399	7,975	12,525	8,489	7,125	97,902	28.7
17,269	18,213	28,624	19,769	18,085	246,592	72.2
6,847	7,547	8,572	8,535	7,432	94,786	27.8
24,116	25,760	37,196	28,304	25,517	341,378	100

館別購入冊数 表(III-3)

分類	館名	中央館	国領分館	つづき丘分館	深大寺分館	神代分館	宮の下分館	緑ヶ丘分館	富士見分館	若葉分館	柴地分館	佐須分館	計
郷土資料		79	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	79
0 総記		352	69	—	60	91	57	101	74	63	81	62	1,010
1. 哲学・宗教		425	41	—	30	47	49	29	57	41	33	51	803
2. 歴史・地理		658	159	—	125	204	196	173	108	256	209	163	2,251
3. 社会科学		1,262	271	—	279	284	305	256	244	350	284	357	3,892
4. 自然科学		467	118	—	124	154	109	204	137	148	149	222	1,832
5. 工業・家庭		259	208	—	182	229	172	242	177	304	200	227	2,200
6. 産業・交通		93	43	—	33	61	51	35	41	62	56	52	527
7. 芸術・スポーツ		420	151	—	168	161	171	166	168	217	153	169	1,944
8. 語学		61	34	—	44	53	45	28	45	42	32	20	404
9. 文学		1,694	819	—	688	721	627	817	1,010	1,096	660	472	8,604
小計		5,770	1,913	—	1,733	2,005	1,782	2,051	2,061	2,579	1,857	1,795	23,546
児童書		2,098	1,207	890	1,095	1,061	946	1,037	1,019	1,144	1,167	1,004	12,668
合計		7,868	3,120	890	2,828	3,066	2,728	3,088	3,080	3,723	3,024	2,799	36,214

館別寄贈受入冊数 表(III-4)

分類	館名	中央館	国領分館	つづき丘分館	深大寺分館	神代分館	宮の下分館	緑ヶ丘分館	富士見分館	若葉分館	柴地分館	佐須分館	計
郷土資料		316	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	316
0 総記		17	3	—	8	2	4	2	10	5	13	3	67
1. 哲学・宗教		9	2	—	14	2	2	2	11	6	4	6	58
2. 歴史・地理		31	3	—	17	6	15	3	11	16	18	42	162
3. 社会科学		74	3	—	15	5	20	4	16	10	21	13	181
4. 自然科学		9	1	—	2	3	1	1	4	4	3	1	29
5. 工業・家庭		6	5	—	6	7	2	2	13	3	4	2	50
6. 産業・交通		2	1	—	3	0	0	2	4	2	2	2	18
7. 芸術・スポーツ		31	32	—	39	7	9	3	9	14	21	137	302
8. 語学		3	1	—	5	2	2	1	1	8	4	2	29
9. 文学		143	297	—	217	29	77	50	303	189	749	77	2,131
小計		641	348	—	326	63	132	70	382	257	839	285	3,343
児童書		17	1	22	50	20	3	10	14	6	45	11	199
合計		658	349	22	376	83	135	80	396	263	884	296	3,542

表(Ⅱ-5) 館別除籍冊数

分類	館名	中央館	国領分館	つじヶ丘分館	深大寺分館	神代分館	宮の下分館	緑ヶ丘分館	丘分館	富士見分館	若葉分館	染地分館	佐須分館	計
郷土資料	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
0. 総計	記	37	10	—	49	14	4	15	6	112	1	0	248	
1. 哲学・宗教	66	5	—	115	43	0	0	20	1	53	0	0	303	
2. 歴史・地理	139	12	—	160	108	9	9	71	7	153	47	0	706	
3. 社会科学	450	97	—	353	287	61	61	138	10	230	6	0	1,632	
4. 自然科学	215	24	—	211	143	40	40	103	2	95	0	0	833	
5. 工業・家庭	310	58	—	204	146	30	30	228	69	311	10	0	1,366	
6. 産業・交通	86	15	—	32	45	10	10	52	8	46	4	0	298	
7. 芸術・スポーツ	147	27	—	143	113	14	14	92	13	137	6	0	692	
8. 語学	17	7	—	46	18	0	0	7	0	72	0	0	167	
9. 文芸	709	314	—	778	451	157	157	758	515	1,154	18	0	4,854	
小計	計	2,177	569	—	2,091	1,368	325	1,484	631	2,363	92	0	11,100	
児童	書	1,839	562	1,835	912	809	351	1,296	830	1,312	679	0	10,425	
合計	計	4,016	1,131	1,835	3,003	2,177	676	2,780	1,461	3,675	771	0	21,525	

Ⅳ 登録状況

1. 年度別・町別登録者数 表(Ⅳ-1)

当館では、毎年4月で登録の一斉切り替えを行っている。昭和57年度の個人貸出の登録者数は、一般(中学生以上)23,204人、児童(小学生以下)18,614人、合計41,818人である。昨年度と比較すると一般は若干減で、ほぼ横ばい状態であるが児童は約500人減っており合計で536人の減がみられる。

この原因については、確かな分析は出来ないが児童数の減少等も一つの要因ではあるが、それだけでは無い様に思われる。今後時間の経過を待って検討を加え図書館活動をすすめる上で大きな課題として考えていかなければならない。

2. 町別登録者数 表(Ⅳ-2-(1),(2),(3))

登録者の状況を町別にみると、昨年度開館した佐須分館のある佐須地域が昨年に引き続いて、高い登録率を示している。

それに次いで、昨年度は染地を使いで国領地域が第二番目に高い登録率を示すこととなった。又、その他の地域においては、ほぼ横ばい状態で約20~25パーセント内外といったところである。

一方、15パーセント未満の地域が2地域あるが、その一つ仙川地域は京王線をはさんで南に若葉分館、北に緑ヶ丘分館の中間地域であり、この地域の住民は生活線とは逆方向の位置に図書館があり、図書館利用を大きく阻害する要因となっている。

又、飛田給地域も同様で、富士見、宮の下の各図書館からは、遠く離れており利用が困難の地域であると言わざるを得ない。

今後これらの地域におけるサービスをどの様に考えていくかが大きな課題となっている。

3. 年度別・館別登録者数 表(Ⅳ-3)

利用者の登録状況を館別にみると、中央館が全体の4分の1を占めている。

分館においては、大きな団地をかかえている国領、染地、両分館の登録者は他の館の2倍近くあり、地域によってかなりのバラツキがみられ、それぞれの地域の状況があっきりとあらわれている。中でも緑ヶ丘分館における登録者の年次の減少傾向については、何らかの分析を加え今後の活動における課題として考えていきたい。

4. 館別・職業別登録者数 表(Ⅳ-4)

登録者の状況を職業別にみると、登録者の半数弱が児童(小学生以下)で占めているのは例年のとおりであるが、これは地域における分館網の整備にもなって“どこでも”“だれでも”利用できる図書館づくりを目指してきた成果のあらわれと考えられる。

一方、一般(中学生以上)の登録者の中では、主婦が32パーセントを占め、次いで勤め人が21.3パーセント、中学生が17.1パーセントと高い位置を示しており、以下学生、高校生、無職、自営、その他の順となっている。

中央館と分館とでこの状況を比較してみると、中央館は学生(24.9%)勤め人(23.6%)、主婦(21.0%)、高校生(11.3%)、中学生(10.8%)の順になっている。

これに対して分館の状況をみると、主婦(36.8%)、勤め人(20.3%)、中学生(20.1%)、高校生(8.8%)、学生(6.9%)と昨年とは若干順位が入れ替わっているがほぼ同様の傾向となっている。

この結果でわかる様に中央館と分館では、その利用形態が明らかに異っている。これは蔵書の量や内容、地理的条件等様々な要因が考えられるが、それぞれの地域では分館の活動が日常生活の中にしっかりと根づいてきていることを物語っている。

分館において、勤め人の登録者が中学生を抜いて第二位に位置づけられたことは大きな意味を持っている。

5. 市内小中学生の登録状況(昭和56年度調査結果)

この調査は、3年に1回の割合で実施している調査で、調査方法は、図書館に登録されたデータをもとに、各学校別、学年別に仕訳けをして集計したものである。これまでの調査は昭和43、47、50、53年度に実施をし今回は5回目の調査である。

(1) 学校別・館別登録者数 表〔Ⅳ-5-(1)、(2)〕

学校別の登録状況をみると、小学校の場合深大寺小だけが50%を下回っており、飛田給小がそれに次いで低い登録率となっている。これらの地域は分館との距離が比較的遠く、児童の図書館利用に関しては困難な地域といわなくてはならない。しかし、57年度佐須分館の開館によって柏野小の利用は大幅に増加した。

中学校の場合も、学校別の格差がかなりあり、近くに分館がある場合とそうでない場合の状況は端的に現われている、と同時に中学生の行動半径が小学生のときよりさらに拡大し、蔵書を多く所蔵している館に集まる傾向が少しずつ見られる。高校生になるとさらに顕著であることは前述の職業別登録状況でみられるとおりである。

(2) 学校別・学年別登録者数 表〔Ⅳ-5-(3)、(4)〕

学年別の状況をみると、小学校の場合3年生を頂点として山型の登録率を示している。1年生7.5%、3年生8.5%、そして6年生になると6.5%と下っていきってしまう。こうした高学年になるに従ってその数が低くなるのは、図書館利用以外の行動が増えてくることに起因するのではないかとと思われる。

尚、当館においては、小学校と協力をして3年生に対し、全学校を対象に図書館利用のガ

イダンスや、ブックトーク、読み聞かせ、業話等を定期的の実施し、読書の動機づけを行っている。

実施場所は、それぞれの学校の状況によって異なるが、学校の教室か、地域の図書館を使用するケースが多い。

一方、中学校の場合は、1年生が最も多く60%が登録をしており、中学生の登録者の約半数を占めている。3年生になると約32%と減ってしまい、中学生全体の10%に満たない状況となっている。

(3) 未就学児童登録者数 表〔Ⅳ-5-(5)〕

0才~6才までの未就学児童(乳児・幼児)の状況であるが、6才児のデータは若干誤差が認められるため参考程度とするが、5才児で約半数の幼児がすでに図書館の利用者として登録されている。これは前にも述べたことであるが、身近かなところに図書館をつくって、“赤ちゃんからお年寄りまで”の具体的な施策の現われである。

※ なお、(1)~(3)の数値は昭和56年度末の調査であるが昭和57年7月佐須分館が開館し活動を開始したため、これまでの数値に佐須分館の数値を追加した。

学校名	昭和56年度末	昭和57年7月	備考
深大寺小	50%		
飛田給小			
...

年度別・町別登録者数表〔N-1〕

(各年度末)

年度 町名	41	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58
野水・西町											
飛田給		606	672	575	600	589	662	687	682	697	708
上石原		1,812	1,743	1,573	1,563	1,367	1,370	1,441	1,432	1,500	1,472
下石原		2,451	2,478	2,344	2,511	1,326	1,262	1,212	1,285	1,252	1,249
多摩川						1,865	1,806	1,944	2,111	2,080	1,929
富士見		2,583	2,399	2,302	2,263	2,083	2,105	2,247	2,137	2,366	2,380
小島		1,696	1,864	2,219	2,202	1,798	1,716	1,726	1,789	1,859	1,874
布田		1,715	1,748	1,708	1,765	1,528	1,470	1,461	1,579	1,644	1,689
下布田		385	359	55	90	117	66	95	70	81	69
調布ヶ丘		858	925	936	1,125	1,127	1,096	1,062	1,016	1,249	1,197
国領		3,260	3,286	3,422	3,838	3,795	3,667	4,341	4,688	5,208	6,133
染地		2,662	2,483	2,420	2,686	2,438	2,300	5,080	5,149	5,184	4,162
深大寺		3,917	4,192	4,431	4,399	4,094	4,048	3,959	3,872	4,410	4,366
佐須		774	848	794	851	786	733	668	714	1,556	1,455
柴崎		1,577	1,354	1,495	1,498	1,504	1,508	1,523	1,440	1,780	1,754
入間		320	1,229	1,298	1,348	1,302	1,212	1,158	1,161	1,189	1,132
東つつじヶ丘		523	869	827	930	955	876	849	924	930	822
西つつじヶ丘		3,630	3,830	3,985	3,793	3,550	3,293	3,177	3,160	3,112	3,246
若葉		316	876	1,125	1,177	1,103	1,001	1,004	997	1,007	1,073
仙川		385	877	639	709	694	676	591	550	521	564
緑ヶ丘		2,391	2,598	2,517	2,566	2,291	2,146	1,914	1,800	1,688	1,638
菊野台		1,161	1,150	1,422	1,258	1,332	1,238	1,271	1,287	1,303	1,400
市内小計		33,022	35,780	35,087	37,172	35,644	34,251	37,410	37,840	40,616	40,312
調布市外		4,339	4,618	4,435	4,307	3,563	2,773	2,254	1,933	1,738	1,506
不明											
合計	3,082	37,361	40,398	40,522	41,479	39,204	37,024	39,664	39,773	42,354	41,818

※ □ は分館の開館により著しく登録の増加した例

町別登録者数表〔N-2-(1)〕

町名	人口	面積	登録者数	登録率	主要担当館	特記事項
飛田給 (野水、西町を含む)	5,577	2,320	708	12.7		
上石原	7,494	0.775	1,472	19.6	(宮)	
下石原	7,021	0.657	1,249	17.8		
多摩川	10,282	1.288	1,929	18.8		
富士見町	9,533	0.901	2,380	25.0	(富)	
小島町	8,431	0.667	1,874	22.0	(中)	
布田 (上布田を含む)	8,664	0.819	1,689	19.5	(中)	
下布田	231	0.026	69	29.9	(中)	
調布ヶ丘	5,818	0.672	1,197	20.6	(佐)	
国領町	20,803	1.580	6,133	29.5	(国)	
染地	15,297	1.003	4,162	27.2	(染)	
深大寺	21,995	4.106	4,366	19.8	(深)	
佐須町	4,792	0.686	1,455	30.4	(佐)	
柴崎町	6,912	0.587	1,754	25.4	(神)	
入間町	6,403	0.845	1,132	17.7	(若)	
東つつじヶ丘	4,430	0.421	822	18.6		
西つつじヶ丘	13,320	0.948	3,246	24.4	(神)	
若葉町	4,745	0.572	1,073	22.6	(若)	
仙川町	4,751	0.513	564	11.9		
緑ヶ丘	7,883	0.580	1,638	20.8	(緑)	
菊野台	7,560	0.695	1,400	18.5	(国)	
市内小計	181,942	20.661	40,312	22.2		
調布市外			1,506			
合計	181,942		41,818	23.0		

(注) 面積総数には河川敷等の面積 1.120 及び金子町 0.009 を含まない。

資料：市民課「住民基本台帳」・計画課「町別面積表」

館別・町別登録者数(成人、児童別) 表(N-2-(2))

町名	中央館			国領分館		
	成人	児童	合計	成人	児童	合計
飛田給(野水西町を含む)	202	95	297	1		1
上石原	314	95	409	1		1
下石原	441	195	636	5	3	8
多摩川	632	382	1,014	4	4	8
富士見町	409	77	486	5		5
小島町	922	596	1,518	8	16	24
布田(上布田を含む)	867	539	1,406	30	22	52
下布田	11		11	8	4	12
調布ヶ丘	368	158	526	10	4	14
国領町	776	339	1,115	1,455	1,570	3,025
柴地	770	198	968	81	40	121
深大寺	470	106	576	5	9	14
佐須町	157	19	176	32	14	46
柴崎町	113	20	133	56	49	105
入間町	37	4	41	2	4	6
東つつじヶ丘	39	4	43	3		3
西つつじヶ丘	144	26	170	27	27	54
若葉町	53	4	57	2	2	4
仙川町	52		52	1		1
緑ヶ丘	63	4	67	3		3
菊野台	140	24	164	261	199	460
市内小計	6,980	2,885	9,865	2,000	1,967	3,967
調布市外	380	16	396	37	2	39
合計	7,360	2,901	10,261	2,037	1,969	4,006

つつじヶ丘分館			深大寺分館			神代分館		
成人	児童	合計	成人	児童	合計	成人	児童	合計
2		2	1		1	1		1
	2	2	1		1	2		2
2		2	4		4			
1	5	6	3	8	11	3	8	11
2	3	5	2	2	4	1	2	3
	2	2	3	2	5	2	3	5
17	24	41	2	2	4	7	14	21
5	1	6	2	1	3	5	4	9
3	7	10	1,398	1,158	2,556	248	196	444
	2	2	2	2	4	41	21	62
4	4	8	1		1	640	516	1,156
11	8	19				3	1	4
17	21	38				35	53	88
703	808	1,511	2		2	592	480	1,072
3	2	5		1	1	9	10	19
1	1	2				6	10	16
7		7	2		2			
207	361	568	1		1	38	62	100
985	1,251	2,236	1,424	1,176	2,600	1,633	1,380	3,013
42	45	87	51	27	78	286	101	387
1,027	1,296	2,323	1,475	1,203	2,678	1,919	1,481	3,400

館別・町別登録者数（成人、児童別）

町名	宮の下分館			緑ヶ丘分館		
	成人	児童	合計	成人	児童	合計
飛田給(野水西町を含む)	162	232	394	1	1	2
上石原	441	492	933	1		1
下石原	171	200	371			
多摩川	377	437	814		2	2
富士見町	10	2	12	1		1
小島町	44	6	50		4	4
布田(上布田を含む)	2	3	5	1	4	5
下布田						
調布ヶ丘	1		1			
国領町	2	4	6	3	7	10
染地	4		4	2	2	4
深大寺	2	3	5	1	2	3
佐須町	1	1	2	2	2	4
柴崎町	1		1	1		1
入間町				2	1	3
東つつじヶ丘				1	2	3
西つつじヶ丘	1	2	3	1	8	9
若葉町				7	2	9
仙川町				79	89	168
緑ヶ丘				730	784	1,514
菊野台						
市内小計	1,219	1,382	2,601	833	909	1,742
調布市外	37	7	44	108	91	199
合計	1,256	1,389	2,645	941	1,000	1,941

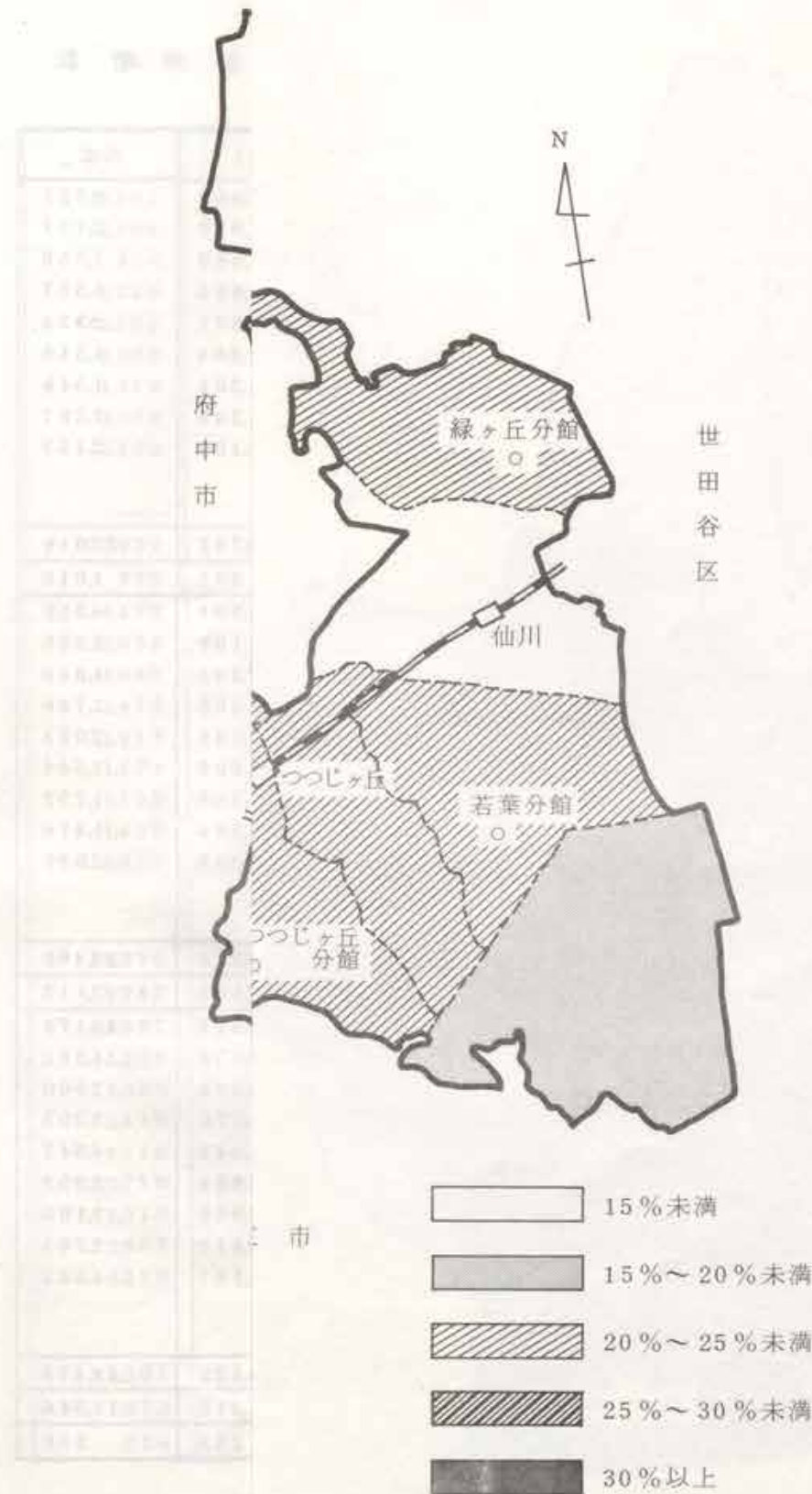
表(N-2-(2))

富士見分館			若葉分館			染地分館		
成人	児童	合計	成人	児童	合計	成人	児童	合計
8	7	15						
57	62	119				9		9
85	121	206				16		16
7	3	10	2	1	3	32	40	72
883	956	1,839	4		4	1	1	2
92	104	196		4	4	18	7	25
12	11	23	3	7	10	33	39	72
						2		2
63	100	163	1	2	3	52	3	55
2	4	6	10	14	24	1,058	269	1,327
6	3	9	5	4	9	1,100	1,913	3,013
85	100	185	5	6	11	4	5	9
2	3	5	2	2	4		1	1
1		1	5	7	12	2	2	4
			466	590	1,056		1	1
			311	330	641	1		1
	1	1	250	129	379	1	4	5
	1	1	555	420	975	1		1
2		2	178	142	320	1		1
			21	21	42			
1		1	16	11	27	5	1	6
1,306	1,476	2,782	1,834	1,690	3,524	2,336	2,286	4,622
18	5	23	101	60	161	34	45	79
1,324	1,481	2,805	1,935	1,750	3,685	2,370	2,331	4,701

館別・町別登録者数(成人、児童別)

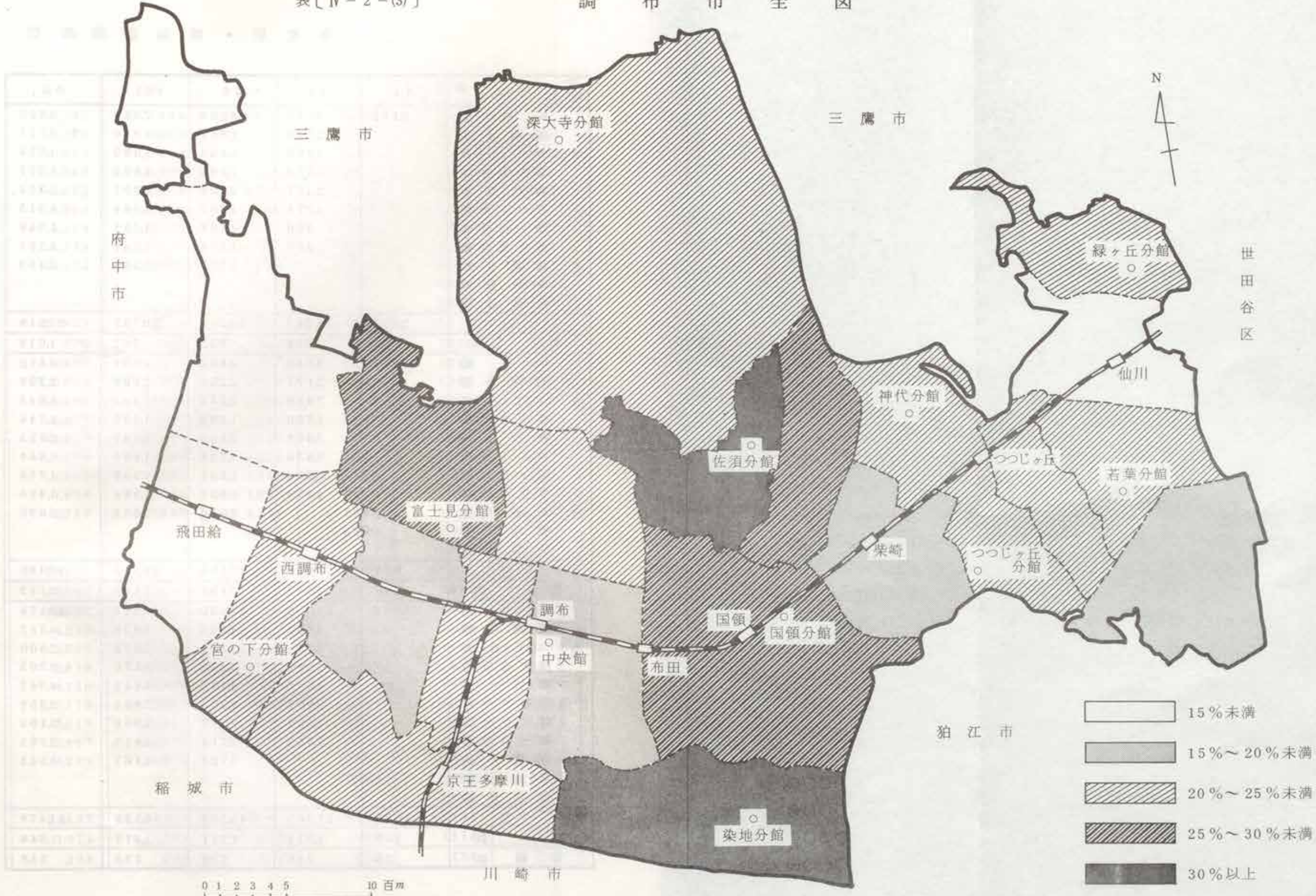
表(Ⅳ-2-(2))

町名	館名			合 計		
	佐 須 分 館	成 人	児 童	成 人	児 童	合 計
飛田給(野水西町を含む)				374	334	708
上 石 原				823	649	1,472
下 石 原	7	1	8	729	520	1,249
多 摩 川	1		1	1,058	871	1,929
富 士 見 町	11	14	25	1,330	1,050	2,380
小 島 町	13	12	25	1,104	770	1,874
布 田(上布田を含む)	46	58	104	999	690	1,689
下 布 田	25	19	44	46	23	69
調 布 ケ 丘	166	257	423	666	531	1,197
国 領 町	202	352	554	3,534	2,599	6,133
染 地	13	3	16	1,993	2,169	4,162
深 大 寺	252	301	553	2,473	1,893	4,366
佐 須 町	616	533	1,149	855	600	1,455
柴 崎 町	149	183	332	973	781	1,754
入 間 町	1	1	2	522	610	1,132
東 つつじヶ丘	3	2	5	410	412	822
西 つつじヶ丘	10	30	40	1,731	1,515	3,246
若 葉 町		1	1	630	443	1,073
仙 川 町	1	1	2	321	243	564
緑 ヶ 丘	1	2	3	827	811	1,638
菊 野 台	31	42	73	700	700	1,400
市 内 小 計	1,548	1,812	3,360	22,098	18,214	40,312
調 布 市 外	12	1	13	1,106	400	1,506
合 計	1,560	1,813	3,373	23,204	18,614	41,818



表〔Ⅳ-2-(3)〕

調布市全図



0 1 2 3 4 5 10 百m

年度別・館別登録者数

館別		年度				
		41	49	50	51	52
成人	中央館	2,161	8,310	8,288	7,984	8,520
	国領分館		2,022	1,881	1,930	2,157
	つつじヶ丘分館		1,266	1,168	1,080	1,058
	深大寺分館		1,322	1,564	1,665	1,557
	神代分館		2,467	2,004	2,301	2,324
	宮の下分館		1,271	1,252	1,264	1,315
	緑ヶ丘分館		920	1,154	1,201	1,348
	富士見分館		965	1,174	1,249	1,287
	若葉分館			1,717	2,109	2,453
	染地分館					
佐須分館						
計		2,161	18,543	20,202	20,783	22,019
指数		100	858	935	962	1,019
児童	中央館	921	5,640	4,842	4,531	4,659
	国領分館		2,171	2,255	2,108	2,225
	つつじヶ丘分館		2,480	2,246	2,343	1,842
	深大寺分館		1,520	1,688	1,605	1,746
	神代分館		2,359	2,103	2,142	2,023
	宮の下分館		1,630	1,754	1,620	1,644
	緑ヶ丘分館		1,584	1,761	1,768	1,755
	富士見分館		1,434	1,537	1,564	1,476
	若葉分館			2,010	2,058	2,090
	染地分館					
佐須分館						
計		921	18,818	20,196	19,739	19,460
指数		100	2,043	2,193	2,143	2,113
合計	中央館	3,082	13,950	13,130	12,515	13,179
	国領分館		4,193	4,136	4,038	4,382
	つつじヶ丘分館		3,746	3,414	3,423	2,900
	深大寺分館		2,842	3,252	3,270	3,303
	神代分館		4,826	4,107	4,443	4,347
	宮の下分館		2,901	3,006	2,884	2,959
	緑ヶ丘分館		2,504	2,915	2,969	3,103
	富士見分館		2,399	2,711	2,813	2,763
	若葉分館			3,727	4,167	4,543
	染地分館					
佐須分館						
計		3,082	37,361	40,398	40,522	41,479
指数		100	1,212	1,311	1,315	1,346
登録率		2.5	21.9	23.6	23.5	23.8

年度別・館別登録者数

別	年度	41	49	50	51	52
中央館		2,161	8,310	8,288	7,984	8,520
国領分館			2,022	1,881	1,930	2,157
つつじヶ丘分館			1,266	1,168	1,080	1,058
深大寺分館			1,322	1,564	1,665	1,557
神代分館			2,467	2,004	2,301	2,324
宮の下分館			1,271	1,252	1,264	1,315
緑ヶ丘分館			920	1,154	1,201	1,348
富士見分館			965	1,174	1,249	1,287
若葉分館				1,717	2,109	2,453
染地分館						
佐須分館						
計		2,161	18,543	20,202	20,783	22,019
指数		100	858	935	962	1,019
中央館		921	5,640	4,842	4,531	4,659
国領分館			2,171	2,255	2,108	2,225
つつじヶ丘分館			2,480	2,246	2,343	1,842
深大寺分館			1,520	1,688	1,605	1,746
神代分館			2,359	2,103	2,142	2,023
宮の下分館			1,630	1,754	1,620	1,644
緑ヶ丘分館			1,584	1,761	1,768	1,755
富士見分館			1,434	1,537	1,564	1,476
若葉分館				2,010	2,058	2,090
染地分館						
佐須分館						
計		921	18,818	20,196	19,739	19,460
指数		100	2,043	2,193	2,143	2,113
中央館		3,082	13,950	13,130	12,515	13,179
国領分館			4,193	4,136	4,038	4,382
つつじヶ丘分館			3,746	3,414	3,423	2,900
深大寺分館			2,842	3,252	3,270	3,303
神代分館			4,826	4,107	4,443	4,347
宮の下分館			2,901	3,006	2,884	2,959
緑ヶ丘分館			2,504	2,915	2,969	3,103
富士見分館			2,399	2,711	2,813	2,763
若葉分館				3,727	4,167	4,543
染地分館						
佐須分館						
計		3,082	37,361	40,398	40,522	41,479
指数		100	1,212	1,311	1,315	1,346
登録率		2.5	21.9	23.6	23.5	23.8

表〔IV-3〕

	53	54	55	56	57	58
	8,262	7,844	7,609	7,868	7,666	7,360
	2,180	2,000	1,972	2,017	2,129	2,037
	996	944	949	1,009	971	1,027
	1,346	1,377	1,344	1,375	1,483	1,475
	2,222	2,010	1,984	1,927	1,901	1,919
	1,205	1,203	1,170	1,264	1,242	1,256
	1,314	1,243	1,068	1,023	954	941
	1,179	1,177	1,262	1,197	1,304	1,324
	2,253	2,086	1,958	2,003	1,948	1,935
			2,000	2,181	2,279	2,370
					1,355	1,560
	20,957	19,884	21,316	21,864	23,232	23,204
	970	920	986	1,011	1,075	1,074
	4,425	4,057	3,558	3,534	3,210	2,901
	2,058	1,910	2,022	2,113	1,989	1,969
	1,643	1,422	1,326	1,235	1,234	1,296
	1,473	1,471	1,404	1,320	1,349	1,203
	1,918	1,755	1,687	1,576	1,516	1,481
	1,574	1,598	1,535	1,507	1,532	1,389
	1,705	1,583	1,334	1,188	1,073	1,000
	1,428	1,436	1,529	1,414	1,521	1,481
	2,026	1,908	1,736	1,692	1,688	1,750
			2,217	2,330	2,388	2,331
					1,622	1,813
	18,250	17,140	18,348	17,909	19,122	18,614
	1,982	1,861	1,992	1,944	2,076	2,021
	12,687	11,901	11,167	11,402	10,876	10,261
	4,238	3,910	3,994	4,130	4,118	4,006
	2,639	2,366	2,275	2,244	2,205	2,323
	2,819	2,848	2,748	2,695	2,832	2,678
	4,140	3,765	3,671	3,503	3,417	3,400
	2,779	2,801	2,705	2,771	2,774	2,645
	3,019	2,826	2,402	2,211	2,027	1,941
	2,607	2,613	2,791	2,611	2,825	2,805
	4,279	3,994	3,694	3,695	3,636	3,685
			4,217	4,511	4,667	4,701
					2,977	3,373
	39,207	37,024	39,664	39,773	42,354	41,818
	1,272	1,201	1,287	1,290	1,374	1,357
	224	212	225	222	234	230

館別・職業別登録者数

館名 職業別	中央館	国領分館	つつじヶ 丘分館	深大寺 分館	神代分館	宮の下 分館
中学生	795	380	137	289	331	307
高校生	833	197	71	148	225	103
学生	1,832	193	33	103	182	72
勤人	1,734	457	205	295	356	262
主婦	1,549	664	520	527	691	424
自営	167	39	23	47	40	33
その他	144	33	16	15	28	15
無職	306	74	22	51	66	40
小計	7,360	2,037	1,027	1,475	1,919	1,256
児童	2,901	1,969	1,296	1,203	1,481	1,389
合計	10,261	4,006	2,323	2,678	3,400	2,645
%	24.5	9.6	5.6	6.4	8.1	6.3

表(Ⅱ-4)

緑ヶ丘 分館	富士見 分館	若葉分館	桑地分館	佐須分館	合計	%
179	215	463	528	350	3,974	9.5
89	106	195	149	109	2,225	5.3
69	89	170	90	97	2,930	7.0
173	285	349	516	319	4,951	11.8
350	531	606	935	578	7,375	17.6
18	25	48	44	43	527	1.3
15	15	37	26	14	358	0.9
48	58	67	82	50	864	2.1
941	1,324	1,935	2,370	1,560	23,204	55.5
1,000	1,481	1,750	2,331	1,813	18,614	44.5
1,941	2,805	3,685	4,701	3,373	41,818	100
4.7	6.7	8.8	11.2	8.1	100	

学校別・館別登録者数

学校名	館名	中央館		国領分館	
		登録者数	登録率	登録者数	登録率
第	一	473	50.4	3	
第	二	169		217	39.0
第	三	104		2	
八	雲台	338	38.7	268	30.7
富	士見台	436	62.6	5	
滝	坂	10		1	
深	大寺	44		1	
上	の原	10		60	
石	原	39		1	
若	葉	10		3	
野	川	1		3	
緑	ヶ丘	9		2	
染	地	7.2	8.7	29	
北	の台	16			
多	摩川	51			
杉	森	140	14.3	37	
大	町	12		162	32.4
飛	田給	41		2	
柏	野	218	36.4	55	
国	領	15		649	94.9
布	田	352	63.5	1	
	小計	2,560		1,501	
桐	朋	24		4	
見	華	25		8	
そ	の他	67		15	
	合計	2,676		1,528	

(小学校) 表(IV-5-1)

つつじヶ丘分館		深大寺分館		神代分館	
登録者数	登録率	登録者数	登録率	登録者数	登録率
		1			
25		2		166	21.5
		128	21.4	38	
4		21		650	65.3
1					
474	76.1				
				1	
		751	72.1	1	
		2		1	
253	50.7			15	
				55	9.2
757		905		927	
6		3		25	
4		8		30	
26		50		221	
793		966		1,203	

学校別・館別登録者数

学校名	館名	宮の下分館		緑ヶ丘分館		富士見分館	
		登録者数	登録率	登録者数	登録率	登録者数	登録率
第 一						307	32.7
第 二						1	
第 三		485	62.6			33	
八 雲 台						1	
富 士 見 台		6		1		2	
滝 坂				7		1	
深 大 寺				1		11	
上 の 原							
石 原		3				501	59.9
若 葉				1			
野 川							
緑 ヶ 丘				741	79.9		
染 地				1			
北 の 台						5	
多 摩 川		371	59.6				
杉 森		2				1	
大 町				1			
飛 田 給		219	43.6			3	
柏 野						7	
国 領							
布 田							
小 計		1,086		753		873	
桐 朋		3		8		5	
晃 華		4		1		2	
そ の 他		18		131		10	
合 計		1,111		893		890	

(小 学 校) 表(IV-5-(1))

若 葉 分 館		染 地 分 館		佐 須 分 館		合 計	
登録者数	登録率	登録者数	登録率	登録者数	登録率	登録者数	登録率
				61		844	90.0
		8		19		414	74.5
		2		1		627	81.0
				418	47.8	1,026	117.5
		2		2		454	65.1
266	34.5	1				479	62.0
1				96		320	53.5
1				160	16.1	906	91.0
		1		16		561	67.1
871	105.2	1		1		888	107.2
26		1		17		522	83.8
15						768	82.8
		536	64.6			638	76.9
		1		2		776	74.5
		5				427	68.6
		862	88.0	2		1,047	106.9
5		1		1		450	90.2
1						266	53.0
1		2		528	88.1	866	144.6
1		19		31		715	92.7
		86	15.5	1		440	79.4
1,188		1,528		1,356		1,343	84.9
31		2		11		122	
11				27		120	
34		53		13		638	
1,264		1,583		1,407		1,431	

学校別・学年別登録者数

学校名	学年	1年		2年		3年	
		児童数	登録者数	児童数	登録者数	児童数	登録者数
第一		162	157	172	140	161	166
第二		77	52	103	75	100	98
第三		134	95	103	80	123	125
八雲台		145	145	134	167	162	207
富士見台		100	56	128	94	111	75
滝坂		126	75	142	95	136	99
深大寺		79	36	110	40	94	69
上の原		172	151	173	138	190	179
石原		144	112	138	99	133	95
若葉		137	134	130	138	146	157
野川		95	88	117	105	107	90
緑ヶ丘		149	125	152	126	147	124
染地		117	69	135	99	128	116
北の台		177	129	180	133	162	136
多摩川		102	80	95	73	128	98
杉森		153	161	181	185	164	173
大町		94	92	87	69	80	83
飛田給		96	44	78	36	87	63
柏野		105	113	81	122	99	158
国領		142	134	152	141	138	144
布田		98	73	99	96	99	69
小計		2,604	2,121	2,690	2,256	2,695	2,524
桐朋			28		19		18
見華			21		17		17
その他			87		94		97
合計			2,257		2,381		2,656

(小学校) 表(IV-5-(3))

4年		5年		6年		計		登録率
児童数	登録者数	児童数	登録者数	児童数	登録者数	児童数	登録者数	
152	138	148	152	143	91	938	844	90.0
93	84	91	54	92	51	556	414	74.5
147	119	138	89	130	118	775	627	81.0
151	179	125	172	156	156	873	1,026	117.5
121	76	116	86	121	67	697	454	65.1
135	82	121	78	112	50	772	479	62.0
102	68	113	56	100	51	598	320	53.5
155	144	154	172	152	122	996	906	91.0
156	142	135	99	130	14	836	561	67.1
151	178	123	133	141	148	828	888	107.2
101	82	92	67	111	90	623	522	83.8
162	144	161	140	156	109	927	768	82.8
158	126	140	113	152	115	830	638	76.9
155	108	191	156	177	114	1,042	776	74.5
115	80	103	65	79	31	622	427	68.6
162	186	144	157	175	185	979	1,047	106.9
87	90	85	72	66	44	499	450	90.2
85	44	85	49	71	30	502	266	53.0
111	137	102	149	101	187	599	866	144.6
131	125	107	92	101	79	771	715	92.7
86	62	83	71	89	69	554	440	79.4
2,716	2,394	2,557	2,222	2,555	1,921	15,817	13,434	84.9
	22		16		19		122	
	19		29		17		120	
	115		103		142		638	
	2,550		2,370		2,099		14,314	

学校別・館別登録者数

学校名	館名	中央館		国領分館		つつじヶ
		登録者数	登録率	登録者数	登録率	登録者数
調	布	119	12.2	8		2
神	代	48		8		5
第	三	207	29.6	66	5.4	2
第	四	17		4		8.9
第	五	141	36.9	2		
第	六	27		186	39.7	2.8
第	七	106	19.2	46		1
第	八	4				1
	計	689		320		12.8
桐	朋	39		10		3
見	華	8		4		
そ	の	103		30		3.5
合	計	839		364		16.6

学校名	館名	緑ヶ丘分館		富士見分館	
		登録者数	登録率	登録者数	登録率
調	布	4		185	19.0
神	代	2		3	
第	三			1	
第	四	5		2	
第	五				
第	六	8		5	
第	七			2	
第	八	15.9	32.5		
	計	17.8		19.8	
桐	朋	4			
見	華				
そ	の	6.1		1.9	
合	計	24.3		21.7	

(中学校) 表(IV-5-(2))

丘分館	深大寺分館		神代分館		宮の下分館	
	登録率	登録者数	登録率	登録者数	登録者数	登録率
		1.8		4	2.2	
		19.9	15.8	17.7	14.0	1
				2		2
9.7			1.9			2
			5		23.3	25.8
		6		1.1		6
		2		6		1
				3		
		22.5		22.7		26.7
		2		1.2		2
		4		1.0		
		2.4		9.6		2.2
		25.5		34.5		29.1

若葉分館		栄地分館		佐須分館		合計	
登録者数	登録率	登録者数	登録率	登録者数	登録率	登録者数	登録率
4		3		9		37.8	38.8
5				10.4	8.2	55.2	43.7
1		41.8	34.0	2		70.1	57.0
40.9	44.7	2		1		55.0	60.6
		1				38.2	42.4
1.0		5		6		29.8	63.5
		1		19.7	35.7	36.2	65.6
1.1						17.8	36.4
44.0		43.0		31.9		340.1	50.1
1.4		6		1		9.3	
1				4		3.1	
4.3		3.1		2.6		4.9	
49.8		46.7		35.0		401.5	(53.4)

学校別・学年別登録者数(中学校)

表(IV-5-(4))

学校名	学年	1年		2年		3年		計		登録率
		生徒数	登録者数	生徒数	登録者数	生徒数	登録者数	生徒数	登録者数	
調布	布	334	154	336	130	303	94	973	378	38.8
神代	代	450	297	425	140	388	115	1,263	552	43.7
第三	三	483	385	424	220	322	96	1,229	701	57.0
第四	四	317	219	323	192	276	139	916	550	60.6
第五	五	298	179	344	125	260	78	902	382	42.4
第六	六	166	131	152	110	151	57	469	298	63.5
第七	七	192	146	174	149	186	67	552	362	65.6
第八	八	180	82	178	52	131	44	489	178	36.4
計		2,420	1,593	2,356	1,118	2,017	690	6,793	3,401	50.1
%			46.8		32.9		20.3		100	
桐朋	朋		39		27		27		93	
見華	華		9		11		11		31	
その他			211		151		128		490	
計			259		189		166		614	
合計			1,852		1,307		856	(7,516)注1	4,015	(53.4)注2
%			46.1		32.6		21.3		100	

注1 中学生の年齢13~15才までの市民人口である。

注2 13~15才(中学生)の市民の登録率は53.4%である。

未就学児の登録者数

表(IV-5-(5))

年齢	地名	中央	国領	つじヶ丘	深大寺	神代	宮の下	緑ヶ丘	富士見	若葉	楽地	佐須	計		
													人口	登録者数	登録率
0才		5	6	13	4	1	4	3	6	5	3	5	2,223	55	2.5
1才		30	19	29	22	14	14	8	26	32	29	21	2,266	244	10.8
2才		95	68	67	44	36	32	31	53	46	78	40	2,304	590	25.6
3才		145	88	78	70	70	77	52	85	63	132	74	2,383	934	39.2
4才		159	128	100	75	105	86	60	98	108	153	99	2,362	1,171	49.6
5才		222	178	95	85	117	109	71	126	100	166	132	2,428	1,401	57.7
6才		115	59	34	39	30	54	41	43	45	61	35	2,496	556	22.3
計		771	546	416	339	373	376	266	437	399	622	406	16,461	4,951	30.1
%		15.6	11.0	8.4	6.8	7.5	7.6	5.4	8.8	8.1	12.6	8.2		100	

※ 6才児の場合は、小学1年生の場合もあるため、不確実な部分がある。

V 貸出状況

1. 年度別貸出冊数 表〔V-1〕

貸出冊数の推移を年度別にみると、昭和52年度をピークに減少の傾向にあったが、55年に染地分館の開館で上昇し、57年には佐須分館の開館によって更に増加し、今年度はそれを上回る貸出冊数となり、貸出総数も70万台に達した。

今後も利用者の動向を出来る限り把握し、リクエストの体制を十分整え利用者の希望に対応出来る選書を行ない、役に立つ図書館づくりを目指していきたい。

又、今後の検討課題として貸出冊数の制限（現在1人2冊まで）の問題と貸出方式（現在ブックラウンジ式）の検討が急務である。

貸出冊数の制限については、1人3～4冊程度の増冊をはかり利用者の多様な読書要求に対応していくべき努力が必要と思われる。

貸出方式についても、より能率的に処理出来る様、更に検討を重ねカウンター窓口におけるサービスの向上をはかっていきたい。

2. 館別個人貸出冊数 表〔V-2〕

貸出状況を館別にみると、中央館が各分館の約2倍の貸出しであるが、これは駅前の便利さや、中央館という蔵書規模等の関係で当然の事であり、中央館の規模・機能等の拡大が計ればその差は更に広がっていくと考えられる。

又、各分館をそれぞれ比較してみると、染地分館が昨年の数を約10,000冊増やし90,561冊で他の分館を大きく上回っており、次いで国領、佐須、富士見、若葉、神代の順となっており佐須分館を除いては昨年とほぼ同様の順位となっているが、それぞれに若干の増加がみられる。

なお、分類別貸出冊数の調査は、昭和42年度から44年度までの3ヶ年間と、昭和52年度から57年度までの6ヶ年間との2期にわたって実施をして来たが、58年度から当分の間は調査を中止している。

42年度からの調査では、中央館だけ（分館が出来る前）の利用状況を出来るだけ具体的なデータで把握し、分館における蔵書構成のあり方等それからの図書館活動を展開していく上での足がかりとした。

52年度からの2期目の調査では、調布市における分館網が2つの地域を残してほぼ完成し（50年度 若葉分館が開館）、今後の図書館運営は館内の充実に目が向けられ始めた。

その中で、再度、各主題ごとの図書利用状況をデータとして認識し、より木目細かいサービスを実践していくための手掛りとして調査を開始した。そして6年間調査を続けてきた結果利

用者の状況は貸出しを通してほぼ把握出来たと言える。今後はこれらのデータをもとに更に分析を加え、市民の求めているものを蔵書構成の中に十分反映させ、市民に役立つ図書館づくりを目指していきたい。

今年度からは、雑誌、郷土資料（56年から中央館の郷土資料を他の蔵書から独立させ、地域資料の充実に努めている。）、成人図書、児童図書の4つに分けて統計をとることとした。

成人図書の貸出が児童のそれを上回っているのは、中央、深大寺、神代、富士見、若葉の5館であり、分館において最も貸出冊数の多い染地分館では、貸出冊数の約6割が児童図書であり、分館における児童サービスの重要さを物語っている。

3. 館別団体貸出冊数 表〔表V-3〕

現在図書館に登録されている団体は42団体である。その大半が幼児や児童をかかえている文庫や、学校、幼稚園等である。

貸出しの実績は昨年とほぼ同様の貸出しがあり、団体貸出しがある程度定着してきたと言える。特に注目すべきことは、文庫の活動状況もさることながら、学校との協力事業にもとづいた学校図書館や、学級文庫への貸出しである。これらは団体貸出冊数の約半分を占めており、協力事業が順調に進められ先生方の図書館に対する期待が大きくなってきていることを示している。

4. 館別図書予約件数 表〔V-4〕

貸出中等によって借りることの出来ない図書資料を予約することが出来る制度がある。これは、その受付件数を調査したものである。（57年4月から調査を開始する）

予約制度は、貸出しを行う上では絶対に切り離すことの出来ないものであり、今日の公共図書館活動において大へん重要な役割を持つものである。

館名	昭和52年度	昭和53年度	昭和54年度	昭和55年度	昭和56年度	昭和57年度
中央館	12,345	13,456	14,567	15,678	16,789	17,890
染地分館	9,012	10,123	11,234	12,345	13,456	14,567
国領分館	5,678	6,789	7,890	8,901	9,012	10,123
佐須分館	3,456	4,567	5,678	6,789	7,890	8,901
富士見分館	2,345	3,456	4,567	5,678	6,789	7,890
若葉分館	1,234	2,345	3,456	4,567	5,678	6,789
神代分館	1,123	2,234	3,345	4,456	5,567	6,678
深大寺分館	1,012	2,123	3,234	4,345	5,456	6,567
その他	1,111	2,222	3,333	4,444	5,555	6,666
合計	33,333	34,444	35,555	36,666	37,777	38,888

年 度 別 貸 出

館名		年度	41	49	50	51	52
成人	中央館		10,115	80,363	84,206	80,093	81,262
	国領分館			22,185	22,138	21,968	25,134
	つつじヶ丘分館			21,314	17,837	15,248	16,647
	深大寺分館			17,524	21,604	23,874	23,504
	神代分館			26,631	28,794	32,250	31,567
	宮の下分館			15,534	15,856	15,208	17,112
	緑ヶ丘分館			10,517	16,186	17,614	20,777
	富士見分館			11,077	16,292	17,334	17,496
	若葉分館				14,303	26,632	32,082
	染地分館						
佐須分館							
小計			10,115	205,145	237,216	250,221	265,581
指数			100	2028	2345	2474	2626
児童	中央館		5,587	74,829	71,098	63,687	67,653
	国領分館			30,639	34,307	31,773	32,434
	つつじヶ丘分館			54,648	52,600	40,957	41,531
	深大寺分館			30,846	34,123	31,675	32,904
	神代分館			41,864	35,441	36,642	35,135
	宮の下分館			32,892	33,056	29,548	31,134
	緑ヶ丘分館			37,880	37,047	35,863	37,438
	富士見分館			33,186	40,673	33,146	33,647
	若葉分館				40,522	34,472	34,262
	染地分館						
佐須分館							
小計			5,587	336,764	378,867	337,763	346,138
指数			100	6027	6781	6046	6195
合計	中央館		15,702	155,192	155,304	143,780	148,915
	国領分館			52,824	56,445	53,741	57,568
	つつじヶ丘分館			75,962	70,437	56,205	58,178
	深大寺分館			48,370	55,727	55,549	56,408
	神代分館			68,495	64,235	68,892	66,702
	宮の下分館			48,426	48,912	44,756	48,246
	緑ヶ丘分館			48,397	53,233	53,477	58,215
	富士見分館			44,243	56,965	50,480	51,143
	若葉分館				54,825	61,104	66,344
	染地分館						
佐須分館							
合計			15,702	541,909	616,083	587,984	611,719
指数			100	3,451	3,924	3,745	3,895

冊 数 表[V-1]

53	54	55	56	57	58
75,982	72,697	75,135	81,207	77,898	75,104
26,938	25,650	26,454	29,727	28,635	31,562
14,022	13,637	17,597	21,682	20,248	20,909
16,492	19,251	21,032	22,244	24,494	25,273
28,838	27,945	29,776	30,331	29,643	29,776
15,614	16,395	18,333	19,243	20,555	22,058
20,475	19,417	16,950	17,902	18,258	20,764
15,514	16,564	19,351	20,862	24,009	26,382
31,654	29,557	28,267	30,666	29,685	28,911
		25,082	29,569	33,595	39,883
				19,175	28,811
245,529	241,113	277,977	303,433	326,195	349,433
2,427	2,384	2,748	3,000	3,224	3,455
60,247	54,480	47,694	51,262	47,758	44,649
30,472	28,967	30,426	38,058	33,642	36,399
35,740	32,467	31,547	32,429	30,961	32,715
23,943	26,755	26,183	24,652	24,963	24,305
32,747	30,927	30,888	29,120	27,238	24,868
30,194	28,054	28,184	26,709	24,641	23,227
36,688	35,694	29,027	25,230	24,554	24,522
32,422	29,463	28,989	29,789	34,783	33,231
32,970	28,974	24,949	28,137	28,039	27,081
		40,164	41,791	47,613	50,678
				27,434	30,984
315,423	295,781	318,051	327,177	351,626	352,659
5,644	5,294	5,691	5,856	6,293	6,312
136,229	127,177	122,829	132,469	125,656	119,753
57,410	54,617	56,880	67,785	62,277	67,961
49,762	46,104	49,144	54,111	51,209	53,624
40,435	46,006	47,215	46,896	49,457	49,578
61,585	58,872	60,664	59,451	56,881	54,644
45,808	44,449	46,517	45,952	45,196	45,285
57,163	55,111	45,977	43,132	42,812	45,286
47,936	46,027	48,340	50,651	58,792	59,613
64,624	58,531	53,216	58,803	57,724	55,992
		65,246	71,360	81,208	90,561
				46,609	59,795
560,952	536,894	596,028	630,610	677,821	702,092
3,572	3,419	3,796	4,016	4,316	4,471

館別個人貸出

	中央館	国領分館	つづじヶ丘分館	深大寺分館	神代分館
雑誌	5,936	2,264	4,048	2,536	2,875
郷土資料	253	-	-	-	-
成人図書	68,915	29,298	16,861	22,737	26,901
小計	75,104	31,562	20,909	25,273	29,776
児童図書	44,649	36,399	3,271	24,305	24,868
合計	119,753	67,961	53,624	49,578	54,644

館別団体貸出

	中央館	国領分館	つづじヶ丘分館	深大寺分館	神代分館
団体数	4	3	7	5	5
貸出冊数					
成人	0	0	0	108	0
学校	1680 1680	135	72	0	99
文庫等	472	588	384	515	1,884
合計	2,152	723	456	623	1,983

館別図書予約

	中央館	国領分館	つづじヶ丘分館	深大寺分館	神代分館
成人図書	1,285	1,068	1,029	799	1,119
児童図書	481	513	417	340	440
合計	1,766	1,581	1,446	1,139	1,559

冊数表(V-2)

宮の下分館	緑ヶ丘分館	富士見分館	若葉分館	染地分館	佐須分館	計	比
2,107	2,490	2,544	4,063	2,686	3,401	34,950	4.96
-	-	-	-	-	-	253	0.04
19,951	18,274	23,838	24,848	37,197	25,410	314,230	4.48
22,058	20,764	26,382	28,911	39,883	28,811	349,433	4.98
23,227	24,522	33,231	27,081	50,678	30,984	352,659	5.02
45,285	45,286	59,613	55,992	90,561	59,795	702,092	100

冊数表(V-3)

宮の下分館	緑ヶ丘分館	富士見分館	若葉分館	染地分館	佐須分館	計
6	1	1	5	4	1	42
20	0	0	15	74	0	217
345	0	994	7,840	45	300	11,510
365	32	65	105	541	10	4,961
730	32	1,059	7,960	660	310	16,688

件数表(V-4)

宮の下分館	緑ヶ丘分館	富士見分館	若葉分館	染地分館	佐須分館	計
570	507	709	696	1,156	747	9,685
544	287	661	573	628	678	5,562
1,114	794	1,370	1,269	1,784	1,425	15,247

VI 障害者サービス

調布市立図書館における障害者サービスは、昭和54年4月障害者サービスの打合せ会が満足し、サービスの体制づくりが始まった。

開始当初は、すでに活動を始めていた「朗読奉仕の会」(調布ブッククラブ)の方々の協力を得て、対面朗読や朗読テープの作成を実施してきた。現在では、朗読ボランティアとしてそれぞれ登録をして、利用者の希望に応じたサービスを実施している。

サービスの種類は、開始当初と殆んど変わりはないが、当初に比べると質・量ともに拡充がはかられ、その体制も徐々に整備されつつある。

1. 朗読テープ所蔵状況 表〔VI-1〕

朗読テープとは、一般に出版された図書をそのまま音読し録音したものである。この場合は著作者又は、著作権者等に録音の許可をもらい、利用する対象も視覚障害者と限定される。又、これらの録音は図書館に登録されている朗読ボランティアの方々の協力によって作成されている。

これ以外に、市販テープがある。これは一般に市販されている朗読テープそのものを購入したものと、寄贈で受入れしたものがあり、寄贈の中では日本盲人会連合からのものが殆んどである。これら市販テープも年次的に整備をはかり、朗読テープの所蔵の幅を広げていきたい。

一方、講演会等記録テープは、特に障害者用という限定はなく、各種講座、講演会、読書会等を記録したものであり、当日参加出来なかった人々にも提供している。

2. 月別朗読テープ利用状況 表〔VI-2〕

朗読テープの利用状況を月別にみると、月による変化は殆んどみられないが、昨年度の総数1,954本(内訳・作製1,177本、その他777本)を大きく上回り、2,854本となり、内訳をみると、作製2,253本、その他601本と、作製テープの利用が2倍以上の伸びとなった。

今後更に作製テープの充実に力を入れていかなければならない。

3. 月別対面朗読実施状況 表〔VI-2〕

57年に比べ対面朗読の実施状況は、約3倍の伸びをみせており、障害者へのサービスに対する浸透度がうかがえる。利用者の実人数も13名と着実に増えている。

又、今年度市民福祉会館隣に調布市総合福祉センターが開館した。その中に対面朗読室が設けられたため、ここを拠点に実施をしている。他は自宅を訪問しての朗読サービスを実施している。

4. 点訳サービス

図書館主催の点訳ボランティア養成講座を終了したボランティアの方々によって「調布ブ

ィユ」という点訳サークルを作ってボランティア活動をしている。利用者からの点訳依頼を受け、図書館を経由して、ボランティア・グループに依頼するルートが出来ている。

これまでの主な点訳物は、雑誌記事、児童図書、教科書等である。図書館からのPR不足もあって、依頼者は教人の限られた利用者であるのが現状である。一方、行政の中で視覚障害者を対象とした印刷物等の点訳等も依頼を受けた。

朗読テープ所蔵状況 表〔VI-1〕

年度	57		58	
	タイトル	巻数	タイトル	巻数
朗読作製テープ	160	441	208	735
市販テープ	197	222	249	305
講演会等記録テープ	334	353	350	371
合計	701	1,016	807	1,411

月別朗読テープ利用、対面朗読実施状況 表〔VI-2〕

区分	月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
		朗読テープ	作製	142	195	248	213	161	183	192	204	136	137	248
その他	(41)		(45)	(70)	(54)	(33)	(50)	(51)	(53)	(34)	(37)	(67)	(39)	(574)
計	68		54	81	71	65	28	62	40	40	28	32	32	601
対面朗読実施回数		36	70	67	64	31	62	60	83	59	33	62	72	699

注：()内はタイトル数

年度	53	54
登録率 ($\frac{\text{登録者数}}{\text{人口}} \times 100$)	$\frac{39204}{175031} \times 100 = 22.4$	$\frac{37024}{174690} \times 100 = 21.2$
市民1人当りの貸出冊数 ($\frac{\text{貸出冊数}}{\text{人口}}$)	$\frac{560952}{175031} = 3.20$	$\frac{536894}{174690} = 3.07$
登録者1人当りの貸出冊数 ($\frac{\text{貸出冊数}}{\text{登録者数}}$)	$\frac{560952}{39204} = 14.3$	$\frac{536894}{37024} = 14.5$
1日当りの貸出冊数 ($\frac{\text{貸出冊数}}{\text{開館日数}}$)	$\frac{560952}{2012} = 279$	$\frac{536894}{2037} = 264$
1冊当りの利用回数 ($\frac{\text{貸出冊数}}{\text{蔵書数}}$)	$\frac{560952}{230994} = 2.4$	$\frac{536894}{246442} = 2.2$
市民1人当りの年間受入冊数 ($\frac{\text{年間受入冊数}}{\text{人口}}$)	$\frac{22839}{175031} = 0.13$	$\frac{26906}{174690} = 0.15$
登録者1人当りの年間受入冊数 ($\frac{\text{年間受入冊数}}{\text{登録者数}}$)	$\frac{22839}{39204} = 0.58$	$\frac{26906}{37024} = 0.73$
市民1人当りの蔵書冊数 ($\frac{\text{蔵書数}}{\text{人口}}$)	$\frac{230994}{175031} = 1.32$	$\frac{246442}{174690} = 1.41$
市民1人当りの図書購入費 ($\frac{\text{図書購入費}}{\text{人口}}$)	$\frac{22004^{*}}{175031} = 126$	$\frac{55242^{**}}{174690} = 316$

* 57年度の貸出冊数は団体貸出冊数をも含む。

	55	56	57	58
	$\frac{39664}{176149} \times 100 = 22.5$	$\frac{39773}{178814} \times 100 = 22.2$	$\frac{42354}{180731} \times 100 = 23.4$	$\frac{41818}{181942} \times 100 = 23.0$
	$\frac{596028}{176149} = 3.38$	$\frac{630610}{178814} = 3.53$	$\frac{694732}{180731} = 3.84$	$\frac{718780}{181942} = 3.95$
	$\frac{596028}{39664} = 15.0$	$\frac{630610}{39773} = 15.9$	$\frac{694732}{42354} = 16.4$	$\frac{718780}{41818} = 17.2$
	$\frac{596028}{2250} = 265$	$\frac{630610}{2317} = 272$	$\frac{694732}{2633} = 264$	$\frac{718780}{2923} = 246$
	$\frac{596894}{272567} = 2.2$	$\frac{630610}{283690} = 2.2$	$\frac{694732}{323167} = 2.1$	$\frac{718780}{341378} = 2.1$
	$\frac{48618}{176149} = 0.28$	$\frac{48822}{178814} = 0.27$	$\frac{41508}{180731} = 0.23$	$\frac{39756}{181942} = 0.22$
	$\frac{48618}{39664} = 1.23$	$\frac{48822}{39773} = 1.23$	$\frac{41508}{42354} = 0.98$	$\frac{39756}{41818} = 0.95$
	$\frac{272567}{176149} = 1.55$	$\frac{283690}{178814} = 1.59$	$\frac{323167}{180731} = 1.79$	$\frac{341378}{181942} = 1.88$
	$\frac{35314^{*}}{176149} = 200$	$\frac{58291^{**}}{178814} = 326$	$\frac{51898^{***}}{180731} = 287$	$\frac{53959^{****}}{181942} = 297$

Ⅶ 各館事業

(1) おはなし会

実施館	期 日	内 容
全 館	館によって異なるが、 毎月2～4回実施	幼児を中心に、小学校低学年までの子どもたちを対象に、素話、絵本の読み聞かせ、紙芝居、スライド、16ミリフィルム等を組み合わせたプログラムを用意し、楽しいお話しの世界に導くことを目的として実施した。

(2) 小学生読書会

全 館	毎月1回 日曜日 午前10時30分 ～11時30分	小学校4年生から6年生までを対象に、幅広い本の世界を知ってもらうために、文学作品にとどまらず、ノンフィクションの分野にも広げて本を紹介したり、感想を話し合う、また日常生活に結びついたもの等もとりあげ、子どもたちの興味を誘うと同時に創造力を啓発した。
-----	------------------------------------	--

(3) 中学生読書会

国領分館	毎月1回 日曜日 午前10時～12時	中学生相互の仲間づくりを主体として、自己を見つめる眼、社会を見つめる眼を養い、幅広い読書を推めていくなかで将来における読書生活の習慣づけを目的として実施した。
------	--------------------------	---

(4) 市内小学校との協力事業

全 館	別紙の通り	市内公立小学校全校を対象に、読書の動機づけを行なった。対象は、原則として3年生とし、図書館利用のガイダンスと同時に、各学級の担任の先生と協力して子どもたちに読書の案内等を行った。 この他、夏休み向け推せんリストの作成等、学校との連携は今後もより一層深められていく。
-----	-------	---

市内小学校との協力事業

()は図書館の団体貸出冊数

学 校 名	実 施 日	実 施 場 所	学 年 ・ 組	備 考
第 一	58. 6. 17	図 書 室	3-1, 2	(1,920冊)
"	"	"	3-3	
第 二	58. 5. 28	国領分館	4-	} ガイダンス
"	5. 31	"	3-1	
"	6. 8	"	3-2	
"	6. 25	"	4-	
"	10. 5	"	3-	
"	10. 6	"	4-	
"	10. 22	"	4-	
"	10. 25	"	3-	
"	59. 2. 25	図 書 室	4-	
"	2. 28	家庭科教室	3-	
第 三	58. 9. 8	宮の下分館	3-1	(320冊)
"	"	"	3-2	
八雲台	58. 4. 20	図 書 室	3-	(350冊)
富士見台	58. 5. 6	教 室	3-1	
"	"	図 書 室	3-2	
"	"	"	3-3	
滝 坂	58. 10. 4	教 室	3-1, 2, 3	
深 大 寺	59. 2. 10	教 室	3-2	
"	"	"	3-1	
上 の 原	58. 7. 1	神代分館	3-1, 2	(60冊)
"	7. 5	"	3-3, 4	
"	11. 5	教 室	5-1, 2	
"	11. 19	"	5-3, 4	

学校名	実施日	実施場所	学年・組	備考
上の原	59. 1. 21	教室	2-1. 2	
"	1. 24	"	2-3. 4	
石原	58. 7. 6	富士見分館	3-	
若葉	58. 5. 10	若葉分館	1-	(7, 5, 5, 6冊)
"	5. 13	"	1-	
"	6. 3	"	2-	
"	6. 9	"	2-	
"	7. 12	"	1-	
"	7. 13	"	1-	
"	7. 15	"	1-	
"	9. 16	"	3-	} ガイダンス
"	9. 17	"	3-	
"	10. 14	"	1-	
"	10. 18	"	1-	
"	11. 17	"	5-	
"	11. 18	"	5-	
"	12. 6	"	1-	
"	12. 8	"	2-	
"	12. 13	"	2-	
"	12. 16	"	1-	
"	59. 2. 7	"	1-	
"	2. 10	"	1-	
"	2. 16	"	2-	
"	2. 21	"	2-	
"	3. 6	"	1-	
"	3. 9	"	1-	
野川	58. 4. 23	つつじヶ丘分館	6-1. 2. 3	(48冊)
"	7. 19	"	3-1	
"	"	"	3-2	

学校名	実施日	実施場所	学年・組	備考
緑ヶ丘	58. 6. 8	緑ヶ丘分館	3-1	
"	"	"	3-2	
"	6. 9	"	3-4	
"	"	"	3-3	
染地	58. 6. 4	教室	3-2	
"	"	"	3-1	
"	"	"	3-3	
北の台	58. 11. 18	深大寺分館	3-4	
"	11. 19	"	3-3	
"	11. 22	"	3-2	
"	11. 26	"	3-1	
多摩川	59. 7. 4	視聴覚教室	3-1. 2. 3	
杉森	58. 5. 12	染地分館	3-3	
"	"	"	3-4	
"	5. 13	"	3-1	
"	"	"	3-2	
"	12. 6	"	1-	
"	12. 10	"	1-	
大町	59. 3. 7	つつじヶ丘分館	3-1	
"	"	"	3-2	
飛田給	58. 7. 13	宮の下分館	3-1. 2	
"	"	"	3-3	
柏野	58. 4. 22	図書室	3-	
国領	58. 7. 1	国領分館	3-1. 2	
"	"	"	3-3. 4	
"	11. 17	国領小学校(校内テレビ)	全児童	
布田	58. 5. 19	図書室	3-1	(720冊)
"	"	"	3-2	
"	"	"	3-3	

(5) その他

事業名	期 日	内 容
子どもの本を読む会	毎月1回 第2火曜日 午前10時～12時 会場 中央館	今年度は、前年に続き、新刊書を中心に読書会を催した。 又、大冊の作品にも手をのばし、相互の読後感を話し合い子どもの本に対する評価の眼を養った。
絵本の会	毎月1回 第2木曜日 午前10時～12時 会場 深大寺分館	⁵⁵ 今年度発足した絵本についての勉強会で、今年は優れた絵本を出来るだけ多く紹介し、絵本の持つ魅力や、子どもと絵本のつながり等について話し合った。
二葉学園読書会	毎月1回 第2水曜日 午後6時～8時 会場 二葉学園	今年度は、読み聞かせや本の紹介等を中心に、本の世界の楽しさを知ってもらい、読書への導入をはかると同時に必読書(課題図書)を決め読後感を話し合った。
おはなしの時間	毎日 午後3時～3時15分 会場 若葉分館	毎日定時に催し、日常業務(貸出、読書案内等)の延長として、専用のおはなし室を利用して行い、素話しや、読み聞かせを中心に、本の世界への導きをより身近なものとして実施した。
その他 (実施) 各 館	随時 児童会館 学童保育所・保育園 地域センター	市の施設等に対して図書の団体貸出しを行うと同時に、子どもを対象とした施設においては、図書以外についても相互の協力をはかり、読書の導入を行った。

Ⅷ その他の活動状況

1. 集会・学習活動の状況

調布市立図書館では、開館以来図書資料の貸出(提供)の外にさまざまな集会・学習活動を実施し、読書への啓蒙と図書館利用の促進を図っている。また、図書館は、市民の学習・実践という反復する繰り返しの活動の中で市民と資料と図書館員との有機的な相互学習の場として各種の事業を実施している。

図書館がこの様に多面的な内容の事業を手がけることには賛否両論があるが、社会教育の分野において図書館の役割は非常に大きく、すべての社会教育的活動の基礎をなすものと考えられる。

今、調布市立図書館では市民の中に学習の基礎づくりを体系化し市民の生涯教育の足がかりとしての図書館を目指して試行錯誤の段階である。現在行なっている事業は、図書館が主催する事業と、図書館を核として活動している調布ブッククラブが行う事業とに大別することができる。調布ブッククラブに属しているグループは昭和58年度57団体でその会員は延1,350人であった。

図書館主催の全市的な事業としては、講座、講演会を中心に時局的なテーマで開催し市広い市民の参加を求めて行なった。一方、各館ごとの事業は、各地域を限定しその中における本目細かい活動を行なった。

2. 行 事

(1) 講演会

講 演 会	6月15日 福祉センター 約150人	毎日新聞編集委員 高瀬 善夫 一路白頭ニ到ル (留岡幸助の生涯)
-------	--------------------------	--

(2) 地域講演会

石原地域 講演会	7月8日 石 原 小 約450人	北海道家庭学校長 谷 昌恒 親は子に何を与えるか
上ノ原地域 講演会	10月17日 上ノ原小 約350人	児童文学者 岩崎 京子 心のひだを育てる
若葉地域 講演会	11月26日 第 四 中 約250人	教育評論家 望月 一宏 これからの家庭教育

(2) 講座・講習会

柳田国男を 読む会	毎日1回、年12回 横浜銀行 50人	指導員 萩原 祥三 柳田国男の作品を通し、思想、文学、芸術、 民俗学を学習。
教育講座 第1回	7月1日 市役所 8階 約150人	作家 高 史明 心の優しさ・心の教育
教育講座 第2回	7月8日 市役所 8階 約130人	北海道家庭学校長 谷 昌恒 ひとむれ家庭学校の教育
児童文学 講座	11月10・17日2回、 横浜銀行 約60人	科学読物研究会員 津田 妍子 科学の本っておもしろいな
手袋人形 講習会	2月8日 市民センター 約20人	人形作家 三木 和子 「めんどりとひよこ」の人形作成
中級朗読 ボランティア 講座	6/10～11/25 10回 図書館 30人	声 優 櫻村 治子 対面朗読・録音テープの ための実務的朗読技術

(4) 著者を囲む会

第1回	11月8日 福祉センター 約60人	作家 古井 由吉 山 鏡 賦
第2回	11月24日 福祉センター 約80人	詩 人 辻井 喬 いつもと同じ春

(5) 座談会

第1回	10月8日 市役所 8階 約120人	思想家・一燈園同人 石川 祥 人間・この欠けたるもの (貧しさと障害を超えて)
第2回	3月30日 福祉センター 約70人	“たんぽぽ”代表 平井 初美 人となるための実践

(6) 研究会

漱石文学 研究会	毎月1回 横浜銀行 20人	近代文学研究家 織田 保夫 夏目漱石の代表作品を通し思想を探る。
現代作家 研究互業会	毎月1回 若葉分館 15人	現代作家の作品をテキストに人と作品とその ねらいを考察。
万葉集を 読む会	毎月1回 第百生命 70人	国文学者・歌人 片山 真美 古典文学の代表作品である万葉集を読み深 める。
子規・左千夫・ 節を読む会	毎月1回 横浜銀行 20人	歌 人 宮地 伸一 近代詩歌を確立した子規・左千夫・節の人 と作品を考察。
聖書を 読む会	毎月1回 図書館 30人	立教女学院教授 秋吉 輝雄 聖書を歴史的・宗教思想史的観点から学習。
仏典に 親しむ会	毎月1回 市内寺院 30人	仏典と日常生活の関りを学習するため、法華 経、阿弥陀経を中心に取上げる。
今昔物語 の会	毎月1回 横浜銀行 30人	児童文学者 西本 鶏介 近代・現代作家に影響を与えている今昔物 語を学ぶ。

民話研究会	毎月1回 横浜銀行 30人	児童文学者 西本 鶏介 郷土の伝統、昔話から聞き書き、調布の創作民話を掘起す。
朗読奉仕 語りの会	毎月2回 図書館 7人	目の不自由な人のための朗読テープの作成とその技術の学習。

(7) 図書館まつり

文化講演会	2月2日 市役所 8階 約100人	ジャーナリスト 岡本 愛彦 テレビよ騎るをかれ
座談会	2月7日 市役所 8階 約100人	映画監督 松林 宗恵 経済大国日本に思う
朗読の会	2月15日 福祉会館 約300人	俳 優 浅利香津代 民話の温み 童話の韻み
子ども 映画会	2月18日 公民館 約400人	映画「ウォーターシップダウンのうさぎたち」 「雨無一病息災」
名画鑑賞会	2月18日 公民館 約200人	映画 「あゝ野麦峠」 (原作・山本茂実)
第12回 市民句会	2月21日 福祉センター 約180人	飯田龍太、加倉井秋を、鷹羽狩行、井沢正江、 柴田白葉女、細見綾子、山口青都の選評俳話
著者を 囲む会	2月23日 福祉センター 約80人	作 家 岡松 和夫 「純粋な生活」
講演会	2月24日 横浜銀行 約70人	詩 人 川崎 洋 話し言葉をめぐって
文化講演会	2月25日 福祉センター 約100人	歌人・作家 上田三四二 詩歌と文芸考

第11回 市民歌会	2月26日 福祉センター 約70人	片山貞美、小暮政次、宮地伸一の選評と講話。
児童文学 講演会	2月29日 福祉センター 約80人	国際学友会講師 浜田 留美 父・浜田廣介の生涯
時局講演会	3月3日 福祉センター 約100人	評 論 家 山川 暁夫 80年代その危機と展望
作家の 筆蹟・横顔展	2月2日～21日 西友調布店	図書館を訪れた作家、評論家等の横顔と筆蹟を 公開し、図書館活動の歩みを展示した。
俳句・短歌展	2月14日～26日 公民館	日頃の創作作品を一堂に展示し、多くの人と鑑 賞した。 (俳句・短歌サークル会員)
日本画展	2月22日～3月10日 西友調布店	日本画技法を学ぶ4サークルが一堂に会し、一 般に展示した。 (指導・田中興之子)

(8) その他の行事

公開合同 読書会	6月10日 中央館 約50人	講 師 山口清次郎 「日本史に見る女の愛と生き方」
緑蔭合同 読書会	8月26日 公民館 約50人	講 師 山口清次郎 「沈黙」 (遠藤周作著)
公開合同 読書会	9月14日 若葉分館 約50人	詩人・評論家 遠丸 立 「女の一生(きくの場合)」 (遠藤周作著)
公開合同 読書会	12月21日 若葉分館 約50人	講 師 山口清次郎 「高瀬舟」 (森鷗外著)
公開合同 読書会	3月14日 若葉分館 約50人	詩人・評論家 遠丸 立 「林芙美子詩集」

映画鑑賞会	7月9日 福祉会館 300人	「夜明け朝あけ」 (原作・住井すゑ)
親子映画 鑑賞会	1/29、2/4、計6回 福祉会館 5,000人	「太郎せんせとわらしこ」 (原作・小関太郎)
八雲台地域 映画会	7月19日 八雲台小 約300人	「二十四の躰」 (原作・壺井栄、監督・木下恵介)
記録映画と 講演会	7月26日 公民館 約150人	教 諭 山崎 馨 「子どもたちの昭和史」
地域映画会と 懇談会	3月2日 公民館 約200人	「反抗期」 「いじめっ子いじめられっ子」
朗読と 横笛の会	10月1日 福祉会館 約1,000人	俳優、幸田弘子、小池朝雄と横笛奏者赤尾三千子
朗読と 語りの会	10月25日 福祉会館 約250人	俳優、白井正明、七尾伶子の朗読と語り。
朗 読 三人の会	3月29日 "タンゴ" 約30人	朗読奉仕語りの会 「野ばら」ほか
朗読ボランティア の集い	5月27日 公民館 35人	朗読指導者 中川 貞子 朗読ボランティアのあり方とその心得について
たきおん 公開合評会	5月8日 公民館 約40人	文芸評論家 青木 健 文芸誌「たきおん第11号」
たきおん 公開合評会	11月13日 市民センター 40人	文芸評論家 青木 健 文芸誌「たきおん第12号」
緑 蔭 日本画展	6月22日～7月9日 西友調布店	4サークル合同の色紙展 (指導・田中與之子)
秋 麗 日本画展	10月19日～11月13日 西友調布店	4サークル合同の展示 (指導・田中與之子)
芥川賞受賞 作家横顔展	10月12日～30日 図書館	図書館を訪れた芥川賞作家の筆蹟と横顔展
直木賞受賞 作家横顔展	11月1日～13日 図書館	図書館を訪れた直木賞作家の筆蹟と横顔展

3. 育成グループ

(1) 読書グループ

グループ名	定 例 日	時 間	会 場
あすなろ読書会	第1木曜日	10時～12時	中央館
柏 読 書 会	第3金曜日	10時～12時	中央館
名 作 読 書 会	第4金曜日	10時～12時	中央館
読書会夜行列車	第3火曜日	7時～9時	中央館
若 葉 読 書 会	第1・第3水曜日	1時～4時	若葉分館
古典文学を読む会	第1土曜日	1時～4時	若葉分館
若 葉 読 書 会	第2・第4金曜日	10時～12時	若葉分館
ふ た ば 読 書 会	第4水曜日	10時～12時	若葉分館
七 宝 読 書 会	第2水曜日	10時～12時	富士見分館
こ だ ま 読 書 会	第3木曜日	10時～12時	富士見分館
針 布 読 書 会	第3木曜日	1時～4時	神代分館
白 鳥 読 書 会	第2木曜日	10時～12時	神代分館
か り ん の 会	第1木曜日	10時～12時	緑ヶ丘分館
緑ヶ丘読書会	第4水曜日	10時～12時	緑ヶ丘分館
やまなみ読書会	第1火曜日	10時～12時	深大寺分館
宮 の 下 読 書 会	第2火曜日	10時～12時	宮の下分館
つ く し 読 書 会	第3火曜日	1時～4時	多摩川地区
木 犀 読 書 会	第4火曜日	10時～12時	柴崎地区
芙 蓉 読 書 会	第4火曜日	10時～12時	国領分館
S F を 読 む 会	第4日曜日	1時～4時	中央館ほか

(2) 創作グループ

火 曜 句 会	第2火曜日	1時～4時	神代分館
水 曜 句 会	第4水曜日	1時～4時	若葉分館
ン(にすい)句会	第2水曜日	1時～4時	横浜銀行
木 曜 句 会	第1木曜日	1時～4時	公民館ほか
二 木 句 会	第2木曜日	1時～4時	横浜銀行
金 曜 句 会	第2金曜日	1時～4時	公民館ほか

グループ名	定例日	時間	会場
みずき句会	第2金曜日	1時～4時	横浜銀行
煌ら句会	第3金曜日	1時～4時	横浜銀行
たづくり句会	第3・第4木曜日	1時～4時	公民館ほか
つつじヶ丘句会	第1火曜日	1時～4時	公民館ほか
青條歌会	第4日曜日	10時～12時	公民館ほか
径歌会	第4日曜日	1時～4時	公民館ほか
水嶺歌会	第3金曜日	2～4時	公民館ほか
からすうり歌会	第2月曜日	1時～4時	羽人氏宅
福寿草歌会	第4金曜日	10時～12時	神代分館
綴り方サークル	第1・第3火曜日	10時～12時	神代分館
たきおん	第2日曜日	1時～4時	公民館ほか
みちくさ	第3木曜日	10時～12時	深大寺分館

(3) 芸術グループ

朱彩会	第1・第3土曜日	10時～12時	中央館ほか
碧彩会	第1・第3土曜日	1時～3時	公民館ほか
彩雅会	第1・第3火曜日	10時～12時	中央館
彩耀会	第1・第3火曜日	1時～3時	公民館ほか
絵本と童話“ぐー”	第1・第3火曜日	10時～12時	中央館

(4) その他

文学散歩同好会	年間 25回	市内 都区内 近県及び宿泊散歩	
古典講読の会	第2木曜日	10時～12時	中央館

(5) 地域文庫

長流文庫	市内親子読書グループ 15団体	市内に点在する地域文庫は、15団体である。これらは図書館と協力し、文庫会員に対し、図書貸し出しや、お話し、本の読みかき、紙芝居等を中心に、文庫活動を続け、地域文化の高揚に努めている。
長流文庫連絡会	年4回開催	長流文庫に加盟の文庫相互の連絡会で、各文庫の現況等を中心に意見交換をし、相互の理解を深め、文庫運営のための参考としていく。

4. 視聴覚ライブラリー

視聴覚ライブラリーは、地域住民生活に密着した視聴覚教育活動の普及と活用を図るため、視聴覚機器及び教材を整備し、次の事業を行った。

(1) フィルム選定会

視聴覚教育活動の啓蒙と視聴覚機器及び教材利用促進を図るため、新規購入フィルムの選定試写会を実施した。同時に、視聴覚ライブラリーの運営及び機材整備等についての協議を行った。

(2) 16ミリ発声映写機操作認定講習会

映写機の基礎的な構造及び機械操作技術の修得並びにフィルムの安全利用について学習、地域での視聴覚教育活動、特に映画会等の普及に役立つものとした。

講習会日程 ①6月25日～6月30日(27日を除く)②7月26日～7月30日、修了者83人。

(3) 16ミリ発声映写機検定

映写機及びフィルム等の安全利用のため、学校、事業所等各団体の所有する16ミリ映写機の機能点検を実施した。

検定日 7月5日～7日 検定台数76台

新規購入映写機については、随時実施した。

(4) 地域における映画会等視聴覚活動の指導・援助

映画会等の開催、フィルム選定に関する相談等、地域の視聴覚活動の窓口として、指導援助に努めた。

(5) 視聴覚機器・教材の利用状況

視聴覚 機材、教材	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
16ミリ映写機	7	12	17	24	30	23	20	12	26	11	22	19	223
8ミリ映写機	2	3	2	1	0	4	0	2	1	0	0	1	16
スライド映写機	0	6	1	6	5	3	1	6	3	0	5	3	39
O. H. P. (オーバーヘッド) プロジェクター	0	0	3	2	0	0	0	0	1	1	2	3	12
スクリーン	3	9	9	14	15	14	11	6	6	2	9	11	109
暗幕	0	7	6	11	2	17	7	2	20	0	20	31	123
16ミリフィルム	23	33	50	106	66	71	46	33	50	24	37	33	572
スライドフィルム	0	2	0	2	4	0	0	1	4	0	12	0	25

事務分掌表

昭和59年6月1日現在

館長	係長	係名	分掌事務	職種	氏名	備考
館長 森 正 克	係長 坂内宗男	庶務	予算の執行に関する事 館の管理に関する事 経理に関する事 広報に関する事 館内の庶務に関する事	司書 事務 (自動車) 運転手 警備員		
			集会、行事に関する事 ブッククラブに関する事 視聴覚ライブラリーに関する事	事務 司書 (社会教育) 指導員 (嘱託)		
	係長 座間 直杜	中央館	中央館の運営・管理 に関する事	司書 司書 司書 司書		布田 4~17~5 (88)5181
			障害者サービスに関する事 図書整理等	(社会教育) 指導員 委託 委託 (協力員) (協力員)		
			国領分館	司書 司書 司書		国領町 3~12~1 (84)2000
	係長 書	分館	つつじヶ丘分館の運 営・管理に関するこ と	司書 司書		西つつじヶ丘 4~23~6 (85)2000

館長	係長	係名	分掌事務	職種	氏名	備考		
館長 森 正 克	係長 座間 直杜	分館	深大寺分館の運営・ 管理に関する事	司書 司書 司書		深大寺町 2266~14 (85)3350		
			神代分館の運営・管 理に関する事	司書 司書 司書		西つつじヶ丘 1~40~2 (85)0054		
			宮の下分館の運営・ 管理に関する事	司書 司書 司書		上石原 3~34~10 (86)5798		
			緑ヶ丘分館の運営・ 管理に関する事	司書 司書 司書		緑ヶ丘 2~25 03(300) 7672		
			富士見分館の運営・ 管理に関する事	司書 司書 司書		富士見町 2~3~26 (85)4376		
			若葉分館の運営・管 理に関する事	司書 司書 司書 (協力員)		若葉町 3~16~13 03(309) 3411		
			染地分館の運営・管 理に関する事	司書 司書 司書		染地 3~3~1 (88)8393		
			佐須分館の運営・管 理に関する事	司書 司書 司書		佐須町 657 (85)1306		

年 度	月 別	種 別	品 目	冊 数	備 考
昭和59年	1月	図書	新刊図書	100	
	2月	図書	新刊図書	120	
昭和58年	1月	図書	新刊図書	150	
	2月	図書	新刊図書	180	
昭和57年	1月	図書	新刊図書	200	
	2月	図書	新刊図書	220	
昭和56年	1月	図書	新刊図書	250	
	2月	図書	新刊図書	280	
昭和55年	1月	図書	新刊図書	300	
	2月	図書	新刊図書	320	
昭和54年	1月	図書	新刊図書	350	
	2月	図書	新刊図書	380	
昭和53年	1月	図書	新刊図書	400	
	2月	図書	新刊図書	420	
昭和52年	1月	図書	新刊図書	450	
	2月	図書	新刊図書	480	

数字で見る図書館活動

昭和59年版

昭和59年10月25日発行

編集・発行

調布市立図書館

館長 森 正 克

(182) 調布市布田4~17~5

0424(8.8)5181

印刷 (有) 林 印 刷

